P42HHS30J（42V型ワイドプラズマディスプレイ）
P-TU4H30J（チューナー）

Plasmavision® W

取扱説明書

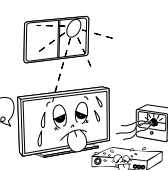
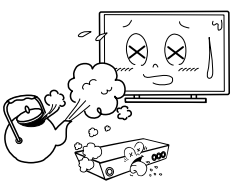
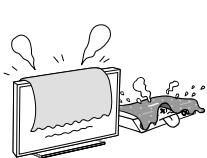
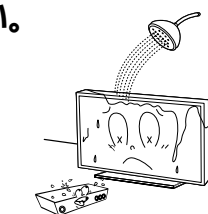
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
特に、安全上のご注意は必ず読んで正しくお使いください。
ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお役に立ちます。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに「保証書」とともに必ず保存してください。

保証書別添

目　次

株式会社 富士通ゼネラル

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この項目は、いずれも安全上に関する内容ですので、必ず守ってください。
「警告」「注意」の意味は次のようになっています。

⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの。
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定されるものおよび物的損害のみの発生が想定されるもの。

絵表示について

	⚠ 記号は、警告・注意を告げるものです。
	⃠ 記号は、禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くの絵は具体的な禁止内容を表しています。（左図の場合は、分解や改造の禁止）
	● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の中の絵は具体的な指示内容を表しています。(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください)

据付け時

⚠警告

ぐらついた台の上や不安定な所に据え付けないでください。

直接床に置いたり壁に立てかけたりしないでください。転倒によるケガや火災・感電の原因となります。

熱器具などを近付けないでください。

直射日光の当たる所やエアコンの吹出口近く、ストーブなどの近くに置くとキャビネットが変形したり、内部が高温となり火災の原因となります。

湿気やホコリの多い所に据え付けないでください。

水蒸気、油煙などの近くに置かないでください。火災・感電の原因となります。

電源プラグは､必ず本機の近くの容易に抜き差しできる場所のコンセントを使用してください。

本機に異常があるときは､すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください｡そのままにしておきますと火災･感電の原因となります。

通風孔をふさぐような据付けはしないでください。

カーテンやテーブルクロスなどを掛けたりしないでください。また、あお向けや逆さまにするなどの状態でご使用になると内部が高温となり火災の原因となります。

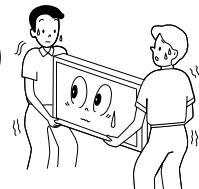
屋外や湿気の多い場所に据え付けないでください。

風呂場やシャワー室などの湿気の多い場所で使用しますと火災･感電の原因となります。

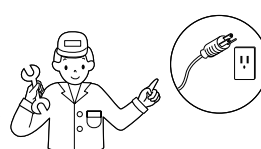
据付け時

⚠警告

据え付けるときや移設するときは、販売店に依頼してください。

必ずする

ご自分で据付け工事や移設工事をされると、落下、倒れによるケガや火災・感電の原因となります。必ず据え付けてから使用してください。

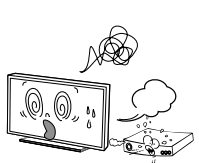
本機の電源プラグは、アース付3芯プラグですのでコンセントが2芯専用の場合は、アース工事をしてください。

必ずする

アース工事をしないと感電の原因となります。販売店にご相談ください。

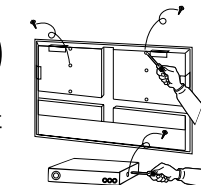
ご使用時

⚠警告

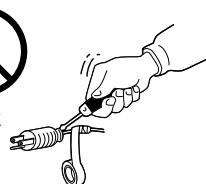
煙が出る、異臭がするなどの異常があるときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグを抜く

異常状態のときは危険ですので、必ず電源プラグを抜いて煙が出なくなるのを確認してから販売店にご相談ください。そのままにしておきますと火災・感電の原因となります。

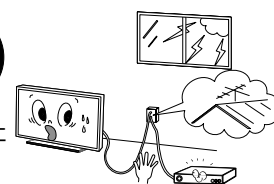
裏ブタ、キャビネットカバーをはずしたり分解や改造をしないでください。

分解禁止

内部には電圧の高い部分や温度の高い部分があり、触れるとやけどや感電の原因となります。

電源コードやプラグを破損しないようにしてください。

禁止

傷付けたり、加工しないでください。また重い物を載せたり、加熱したりすると破損することがあり、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りはじめたら、アンテナ線や本機、および電源プラグには触れないでください。

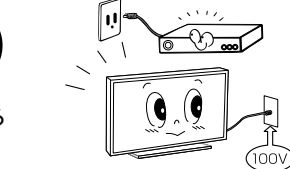
接触禁止

落雷で感電や火災の原因となります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。

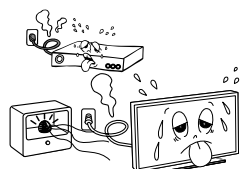
必ずする

差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となります。

電源は交流100V専用コンセントを使用してください。

必ずする

100V以外の電源は火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグにストーブなどの熱器具を近付けないでください。

禁止

電源ケーブルを高温部に近付けないでください。火災の原因となります。

電源プラグにホコリが付着しないように定期的にホコリを取ってください。

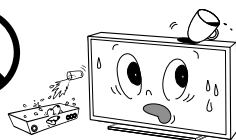
必ずする

ホコリが付着すると電源プラグの絶縁不良により火災・感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

ご使用時

⚠警告

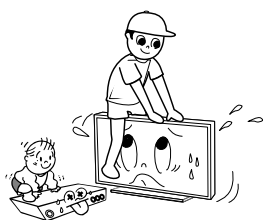
内部に異物や水などを入れないでください。

火災・感電の原因となります。もし入ったときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

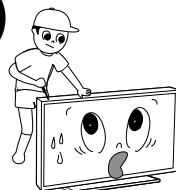
電源ランプが赤色および緑色で点滅しているときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま放置しますと、火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

ご使用時

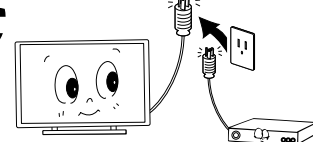
⚠注意

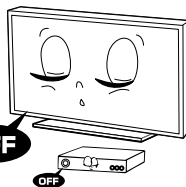
本機に乗らないでください。

倒れたり、壊れたり、落ちたりしてケガの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

放熱ファンに触れないでください。

放熱ファンから熱風が出る場合があります。また、放熱ファンの中に棒などを入れないでください。ケガの原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

電源コードは必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張って抜くと芯線の一部が断線し、発熱・発火の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。

プラグ部分にホコリがたまって、発煙・発火の原因となることがあります。

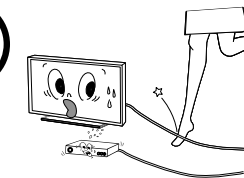
各機器との接続は、電源を切ってから行ってください。

必ず、本機および接続する機器の電源を切ってから行ってください。切らずに行いますと感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。

リモコンを長期間ご使用にならないときは、電池を取り出してください。

電池から液が漏れる場合があります。ぬれた液が皮膚についたり、目や口に入った場合は、すぐに水で洗い流してください。なお、目がかすむなどの症状が出た場合は、医師にご相談ください。

接続ケーブルを引っ張ったり、引っかけたりしないでください。

倒れたり、落ちたりしてケガや故障の原因となることがあります。特に、お子様にはご注意ください。

ご使用時

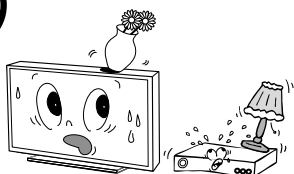
⚠注意

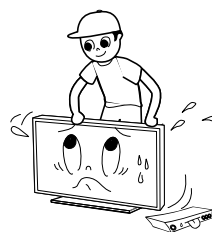
移動させる場合や、お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグや機器間の接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。接続したままですと感電の原因となることがあります。

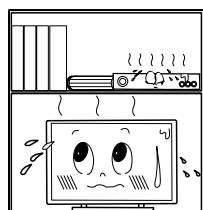
一年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご依頼ください。

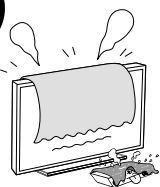
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

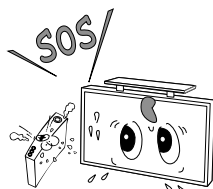
本機の上に、物を置かないでください。

倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。

衝撃を与えないでください。

前面は、ガラスを使用しているため衝撃を与えるとガラスが割れ、ケガの原因となることがあります。

風通しの悪い所で使わないでください。

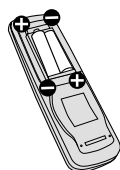
禁止

押入れ、本箱の中などの風通しの悪い所で使わないでください。本体内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

通風孔の上に物を載せないでください。

本機にテーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、他の機器を密着させて載せたりして、通風孔をふさがないでください。本機内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

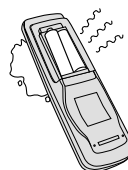
本機をあお向けや逆さまにして使用しないでください。

そのまま使用すると故障したり、火災の原因となることがあります。

梱包箱や梱包袋（ビニール袋）などは、お子様などが遊びに使わないように注意してください。

遊びに使ったりすると、ケガや窒息する原因となることがあります。

電池を入れるときは、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖ の向き）に注意してください。

機器の表示通り正しく入れて下さい。間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください。

禁止

間違えますと電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

特長

各種入力信号に対応

・ビデオ入力は、ビデオ端子、S-ビデオ端子を各 4 系統、D 端子を 3 系統、コンポーネントビデオ端子を 2 系統装備しています。
・RGB 入力は mD-sub 端子に加え、高品位な画質表示が可能な DVI 規格（HDCP *）のデジタル RGB 信号にも対応しています。
・ビデオ入力は各種信号方式に対応しています。（NTSC ／ PAL ／ SECAM ／ PAL60 ／ N-PAL ／ M-PAL ／ 4.43NTSC）

お好みの画面サイズで

・ビデオ入力では普通の映像(4：3)をそのまま映し出すノーマルモードを含め、すっきりワイド、フル、ズーム 1、ズーム 2 の 5 種類の表示ができます。
・ビデオ入力では映像のソフトの内容によって自動的に画面サイズを切り換えるオートモードがあります。
・RGB 入力ではノーマル、ワイド、ズームの 3 種類の表示ができます。

お好みの画質で

・プロセッティング設定により、より高度な映像の調整ができます。
・ノイズリダクション機能によりノイズを軽減しクリアな映像がご覧になれます。
・24 フレームモード機能により映画などのフィルム素材に適した表示をすることができます。
・ジャギーフィルター機能により滑らかでシャープな高精彩映像がご覧になれます。

便利な省電力設定

入力されている映像信号がない場合や、長時間リモコンを操作しない場合に自動的に本機の消費電力を節約する機能があります。

その他

・画面の焼き付きを軽減させるホワイトスクリーン、スクリーンセイバー機能があります。
・光音声入出力端子を装備しています。

* HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）機能により、コピーガード・プロテクションが施されたハイビジョン・デジタルコンテンツ（映画など）をプラズマディスプレイに表示することができます。

確認していただきたいこと

付属品の確認

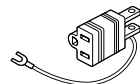
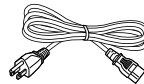
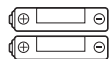
チューナー部

リモコン…1 個

単３形乾電池…2 本

保証書…1 通

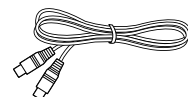
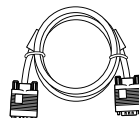
電源コード…1 本

AC 変換アダプタ…1 個

ディスプレイ部

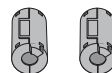
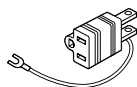
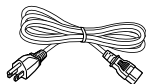
取扱説明書…1 冊

保証書…1 通

システムケーブル（映像）…1本

システムケーブル（音声）…1本

電源コード…1 本

AC 変換アダプタ…1 個

フェライトコア…2 個

知っておいていただきたいこと

●アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

- ●定期的に内部の点検・掃除を、販売店にご依頼ください。
- ●長時間同一画像を表示すると、その部分の輝度が変化し、画面の一部が残像として焼き付く場合があります。本機の寿命を長くするためにも、スクリーンセイバー、ホワイトスクリーンの機能などを利用して、長時間、連続して同一画像(パターン)を表示しないようにしてください。（48、49 ページ参照）
- ●プラズマディスプレイパネルは、非常に精密度の高い技術でつくられていて、99.99%以上の有効画素がありますが、ほんのわずかの画素が欠けたり常時点灯する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ●本機ディスプレイは動作中に内部の温度が上昇するのを防ぐために放熱用のファンが取り付けられています。
- ●放熱ファンより熱風が出る場合がありますのでご注意ください。
- ●他のAV機器と相互に悪い影響が生じる場合には、販売店にご相談ください。電磁波妨害などによる映像の乱れ、雑音や、赤外線リモコンの誤動作などが発生した場合には設置場所を変えてください。
- ●RGB 入力端子に特殊なパソコンを接続すると、映像が正常に表示されないことがあります。
  この場合には、販売店にご相談ください。
- ●内部に異常がある場合、内蔵されている保護回路により自動的に電源が「切」となります。その場合、電源ランプが赤色および緑色で点滅し、故障したことをお知らせします。

⚠警告

電源ランプが赤色および緑色で点滅している場合は、何らかの異常があったことをお知らせしています。
そのまま使用しますと、火災・感電の原因となりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

お知らせ 外部機器との接続ケーブルは付属されておりません。販売店にご相談のうえ、お買い求めください。

設置

本機内部の温度上昇を防止するため、本機周囲に風通しの空間を設けてください。また放熱をよくするために、本機周囲には下図の空間距離(最低距離)を設けてください。

本機を設置するときには、オプションの卓上スタンド、天吊りユニット、壁かけユニットなどを必ず使用してください。設置は、販売店にご依頼ください。
本機を設置するときには、各オプションの取付説明書をご覧ください。

※本機の周囲温度を０～40℃の範囲に保つことができる場所に設置してください。
※本機を左右および背面方向へは傾けないでください。
※電源コード、接続ケーブルは引っかからないように、壁、床などの隅に配線してください。
※事故防止と地震などのときの安全確保のため、転倒防止の処置をしてください。

本体部（卓上スタンド）

本体部（卓上スタンド以外）

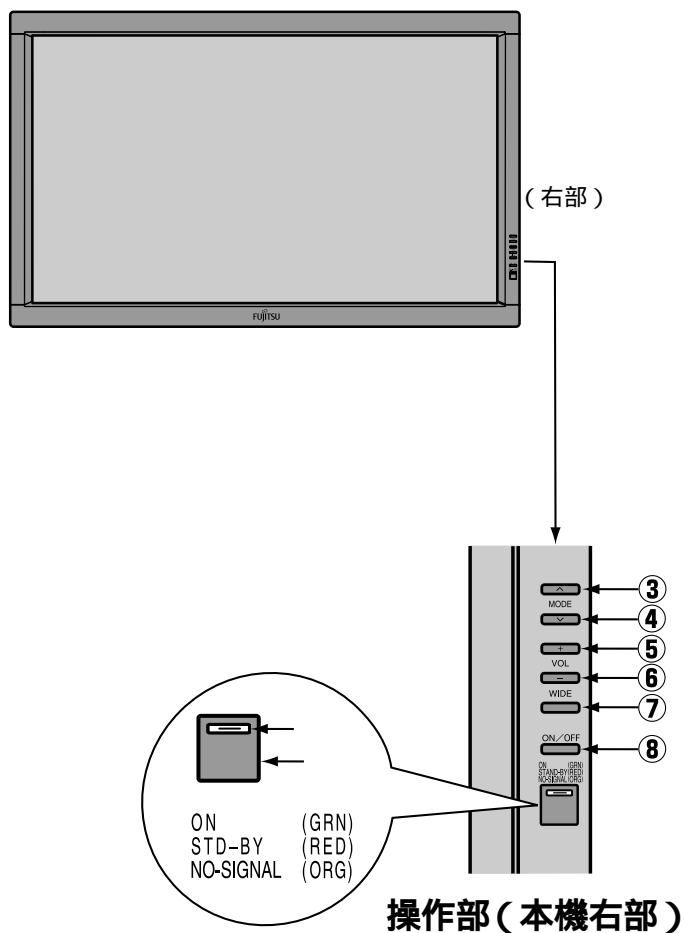
チューナー部

お願い　本機は、精密機器のため、輸送時には専用の包装材を利用してください。その際に、当社以外の包装材は、使用しないでください。

参　照　オプション品については、51ページを参照してください。

各部の名称と働き

ディスプレイ部・前面

操作部（本機右部）

①電源ランプ
電源の状態を表示します。
点灯（赤色）　：待機状態
点灯（緑色）　：電源「入」状態
点灯（橙色）　：DPMS（節電機能）状態の節電状態（47 ページ参照）
点滅（赤色、緑色）：内部異常（点滅のしかたで異常状態を示します。）

②リモコン受信部
リモコンからの信号を受信します。

③入力モード切換ボタン△（MODE）
④入力モード切換ボタン▽（MODE）
映像入力モードを切り換えます。

⑤VOL ＋ ボタン
⑥VOL − ボタン
音量を調整します。

⑦ワイド切換ボタン（WIDE）
お好みのワイド画面に切り換えます。

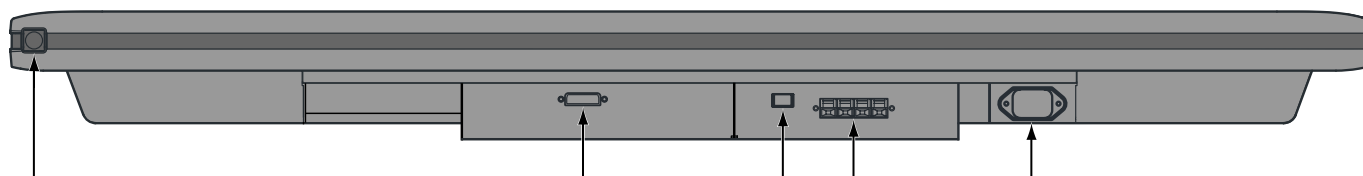
⑧ ON ／ OFF ボタン
電源を「入」「切（待機状態)」します。

使い方

⚠警告

電源ランプが赤色および緑色で点滅しているとき(内部異常時)は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま放置しますと、火災・感電の原因となります。

各部の名称と働き（つづき）

ディスプレイ部・下部

① ⏻ ／ I スイッチ
「OFF」状態のとき押すと「ON ⏻」状態になり電源ランプが点灯します。
リモコンまたは本機操作部で電源の「入」「切」ができるようになります。
「ON ⏻」状態のときに押すと「OFF」状態になり電源ランプが消灯します。
電源「OFF」のとき、一部には電源が供給されています。

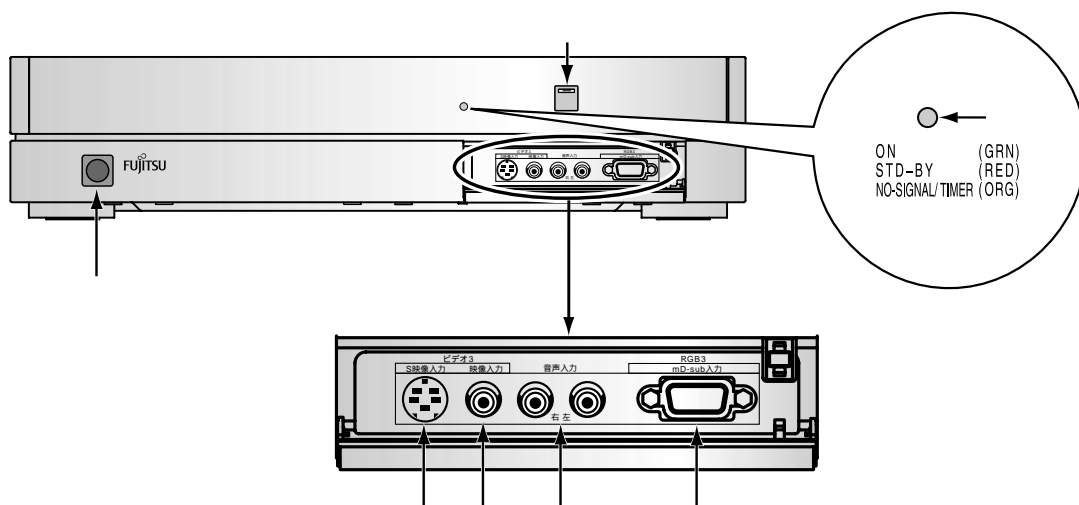
② ディスプレイ入力（映像）端子（DISPLAY INPUT / PICTURE）
付属の専用ケーブルでチューナのディスプレイ出力端子と接続します。

③ ディスプレイ入力（音声）端子（DISPLAY INPUT / AUDIO）
付属の専用ケーブルでチューナのディスプレイ出力端子と接続します。

④ 外部スピーカー出力端子（EXT SP）
オプション品のスピーカーと接続します。
ケーブルを接続するときはフェライトコアを取り付けてください。（17 ページ参照）

＊オプション品の取付説明書をご覧ください。

⑤ 電源入力端子
付属品の電源コードを接続します。

チューナー部・前面

① 電源ランプ
電源の状態を表示します。
点灯（赤色）　　　：待機状態
点灯（緑色）　　　：電源「入」状態
点灯（橙色）　　　：DPMS（節電機能）状態の節電状態（47ページ参照）
点滅（赤色、緑色）：内部異常

② リモコン受信部
リモコンからの信号を受信します。

③ POWER 電源ボタン
電源を「入」「切」します。
電源「切」のとき、一部には電源が供給されています。

④ ビデオ 3、S 映像入力端子　※
ビデオデッキなどの S ビデオ出力端子と接続します。

⑤ ビデオ 3、映像入力端子　※
ビデオデッキなどのビデオ出力端子と接続します。

⑥ 音声入力端子（L ／ R）
ビデオ 3 と RGB3 の音声入力端子です。
ご覧になる映像の音声を入力してください。

⑦ RGB3 入力端子
パソコンのモニター（mD-sub）出力端子と接続します。

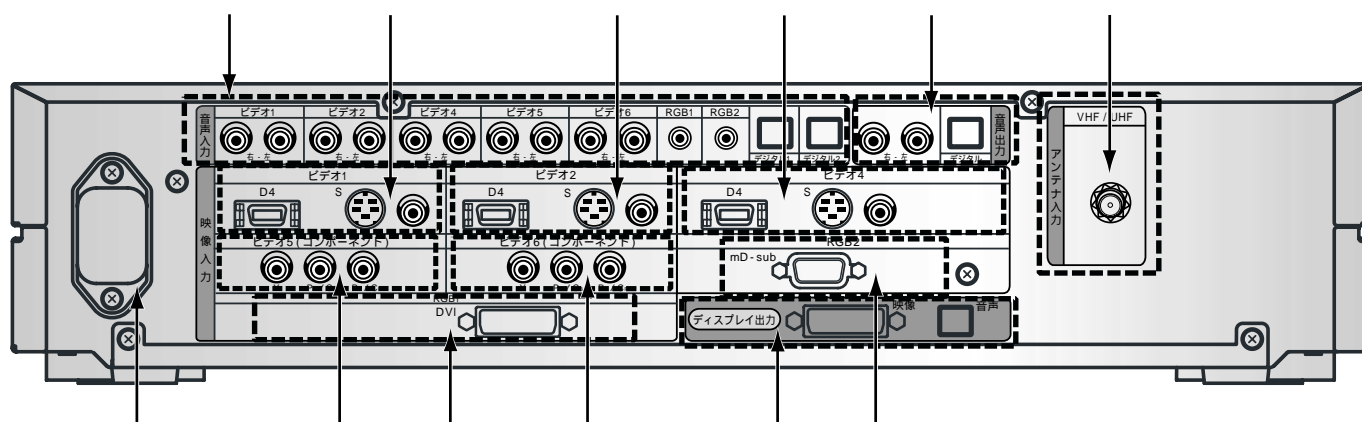
※ビデオ入力形式の選択については「入力端子の設定」（45 ページ）を参照ください。

⚠警告

電源ランプが赤色および緑色で点滅しているとき(内部異常時)は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま放置しますと、火災・感電の原因となります。

使い方

各部の名称と働き（つづき）

チューナー部・後面

①音声入力端子
各入力端子に合わせて音声を入力してください。
※デジタル入力端子は、お好みに合わせてリモコンで設定することができます。（31 ページ参照）

②音声出力端子
オーディオシステム（アンプ）を使って音声を楽しむときに使用します。

③ビデオ 1 入力端子
④ビデオ 2 入力端子
⑤ビデオ 4 入力端子
ビデオデッキや DVD などの D 映像出力端子、S 映像出力端子、映像出力端子と接続します。
※ビデオ入力形式の選択については『入力端子の設定』（45 ページ）を参照ください。

⑥ビデオ 5 入力端子
⑦ビデオ 6 入力端子
DVD などのコンポーネント映像出力端子と接続します。

⑧RGB1 入力端子
パソコンのモニター(DVI-D)出力端子と接続します。

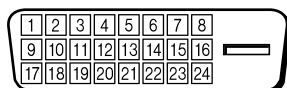
⑨RGB2 入力端子
パソコンのモニター(mD-sub)出力端子と接続します。

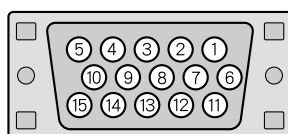
⑩ディスプレイ出力端子 （映像／音声）
ディスプレイ側の映像入力端子と音声入力端子に接続してください。

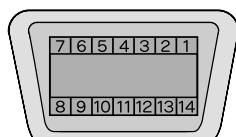
⑪電源入力端子
付属品の電源コードを接続します。

⑫ VHF/UHF アンテナ入力端子
VHF/UHF のアンテナ信号と接続してください。

入力端子の説明

DVI-D 端子（RGB1 INPUT/DVI-D）

ピン番号	入力信号	ピン番号	入力信号	ピン番号	入力信号
1	T.M.D.S. Data2−	9	T.M.D.S. Data1−	17	T.M.D.S. Data0−
2	T.M.D.S. Data2＋	10	T.M.D.S. Data1＋	18	T.M.D.S. Data0＋
3	T.M.D.S. Data2 Shield	11	T.M.D.S. Data1 Shield	19	T.M.D.S. Data0 Shield
4	−	12	−	20	−
5	−	13	−	21	−
6	DDC Clock	14	＋5V Power	22	T.M.D.S. Clock Shield
7	DDC Data	15	Ground(for ＋5V)	23	T.M.D.S. Clock＋
8	−	16	Hot Plug Detect	24	T.M.D.S. Clock−

mD-sub 端子（RGB2、3 INPUT/mD-sub）

ピン番号	入力信号	ピン番号	入力信号
1	赤	9	−
2	緑	10	Ground
3	青	11	−
4	−	12	−
5	Ground	13	水平(H)同期(TTL)
6	Ground	14	垂直(V)同期(TTL)
7	Ground	15	−
8	Ground	外枠	Ground

D4 端子（ビデオ 1、2、4 ／ D4）

ピン番号	入力信号	ピン番号	入力信号
1	Y	8	制御ライン1
2	Y GND	9	制御ライン2
3	P_B	10	−
4	P_B GND	11	制御ライン3
5	P_R	12	−
6	P_R GND	13	−
7	制御ライン GND	14	−

各部の名称と働き（つづき）

リモコン

詳しくは、▶に示したページをご覧ください。

①電源ボタン 28
電源を入／スタンバイします。

④画面表示ボタン 31
オンスクリーン表示をします。

⑤映像モードボタン 31
映像モードの切り換えをします。

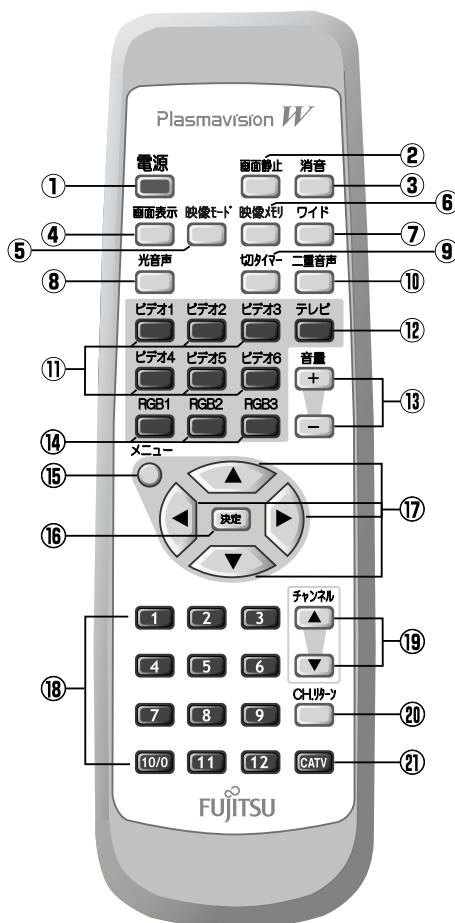
⑧光音声ボタン 31
入力音声の選択ができます。

⑪ビデオ 1 ～ 6 ボタン 30
ビデオ 1 ～ 6 を選びます。

⑭RGB1 ～ 3 ボタン 30
RGB1 ～ 3 を選びます。

⑮メニューボタン 34 ～ 50
メニュー画面を表示して映像や音声を調整するときに使用します。

⑯決定ボタン 34 ～ 50
調整メニュー、設定内容を決定します。

⑱10 キー／チャンネルボタン 29
地上波放送のチャンネル選局やダイレクト選局に使用します。

②画面静止ボタン 31
視聴中の画面を静止画で表示します。

③消音ボタン 28
音声を一時的に消します。

⑥映像メモリボタン 31
映像メモリの呼び出しをします。

⑦ワイドボタン 32
アスペクトの切り換えをします。

⑨切タイマーボタン 31
電源が切れる時間を設定します。

⑩二重音声ボタン 31
二重音声放送時の音声モードが選べます。

⑫テレビボタン 29
地上波放送が選べます。

⑬音量調整ボタン 28
音量を調整します。
＋：音量を大きくします。
－：音量を小さくします。

⑰十字ボタン(◀/▶/▲/▼) 34 ～ 50
メニュー画面表示中に、項目を選択、または値を調整するときに使います。

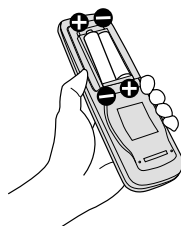
⑲チャンネル ▲／▼ボタン 29
放送局を選局します。

⑳チャンネルリターンボタン 29
ひとつ、前のチャンネルに戻ります。

㉑CATV ボタン 29

リモコンの取扱い

電池の入れ方

① カバーを押しながらスライドさせ、はずします。

② 単3形電池を2本入れます。（+）、（−）を間違えないように入れてください。

③「カチッ」と音がするまで、カバーを閉めます。

リモコンの取扱い時のご注意

リモコンに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

リモコンを水にぬらしたり、温度の高い所やストーブなどの熱器具の近くには置かないでください。故障や変形の原因となることがあります。

リモコンをベンジン・シンナーなど揮発性の液体でふかないでください。

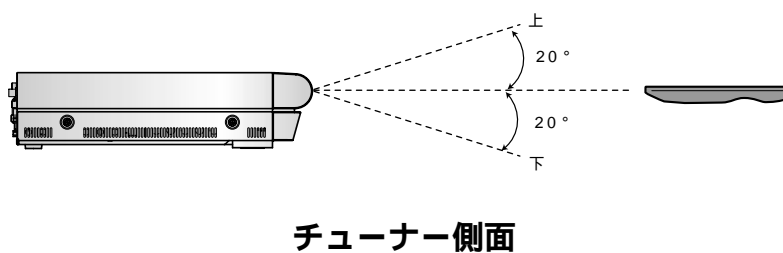
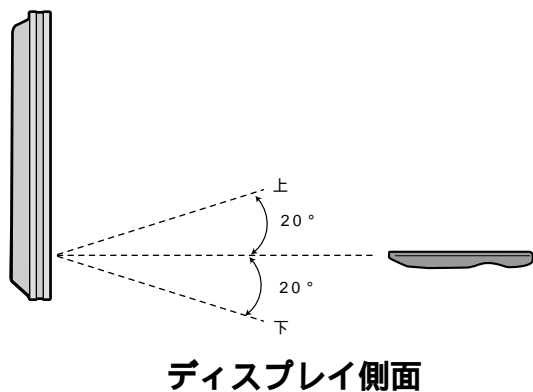
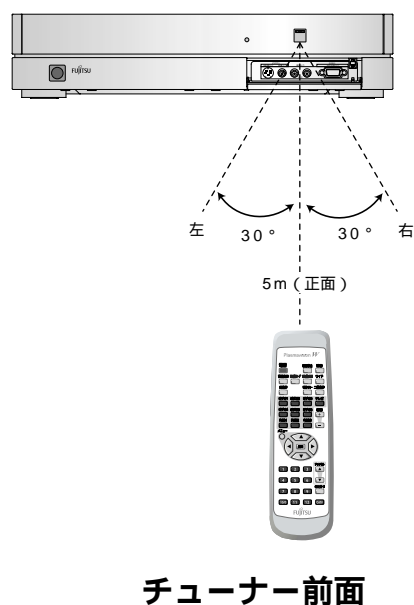
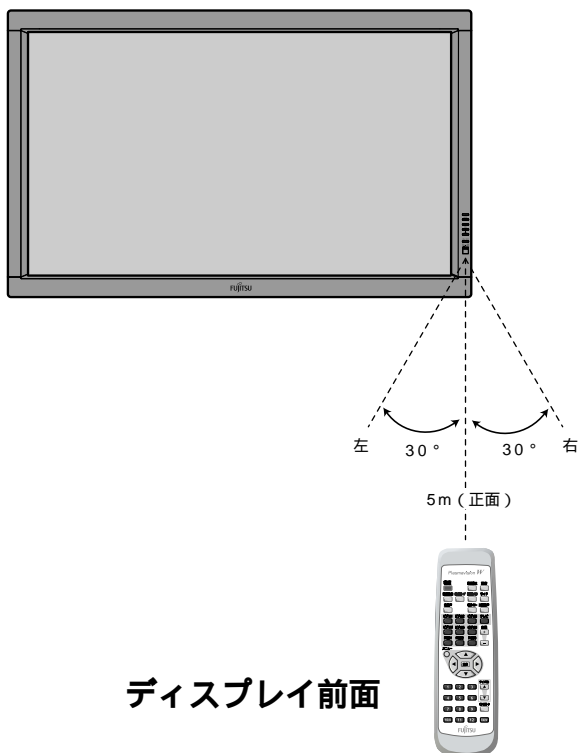
使い方

⚠注意

電池を交換するときは、2本とも新品で、元の電池と同じ型・種類のものを必ず使用してください。
使用済みの電池は各地域の規則、あるいは公的な環境規則に従って処分してください。

お願い 電池が消耗すると、リモコンが正しく動作しなくなります。新しい電池と交換してください。
充電式（Ni-Cd）電池は、使用しないでください。

リモコンの受信範囲

リモコン受信部に向けて操作してください。
本機のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。

お知らせ 高周波蛍光灯などを使用していると、正しく動作しない場合があります。このようなときは、蛍光灯または、リモコンの操作位置を変えてください。

外部機器の接続

接続する前に、本機および、接続機器の電源を必ず「切」にしてください。
外部機器との接続ケーブルは付属していません。パソコンの機種などにより使用する接続ケーブルが異なりますので、販売店にご相談し、お買い求めください。

電源の接続

必ずアースを接地してください。
本機の電源プラグは、アース付き 3 芯プラグです。コンセントが 2 芯専用の場合は、アース工事が必要です。
販売店にご相談ください。

⚠注意

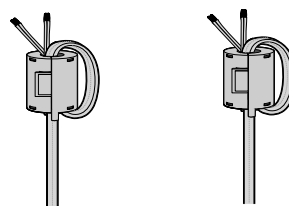
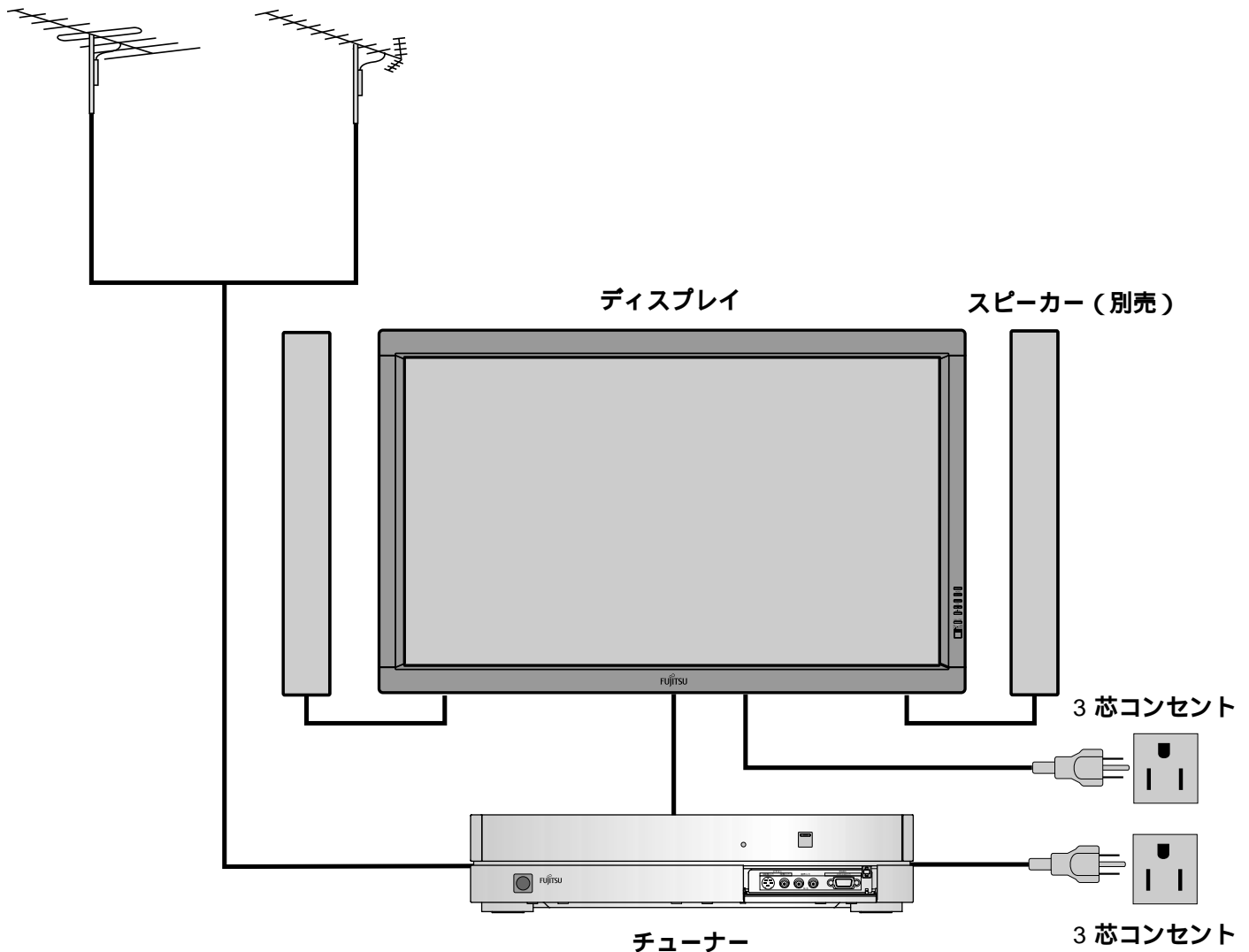
ＡＣ変換アダプタ、ご使用時の注意点
- ●電源プラグは、アース付き3芯プラグです。
- ●コンセントが2芯専用の場合
  - ・アース工事を専門業者にご依頼ください。
  - ・付属のＡＣ変換アダプタをご使用の際は、アース接続を確実に行ってください。
- ●アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

外部機器の接続

端子の位置、種類を確認して、正しく接続してください。
コネクターおよび端子がゆるんでいると、画像が乱れたり、色などが正常に表示されない場合がありますので、しっかり確実に接続してください。

フェライトコア

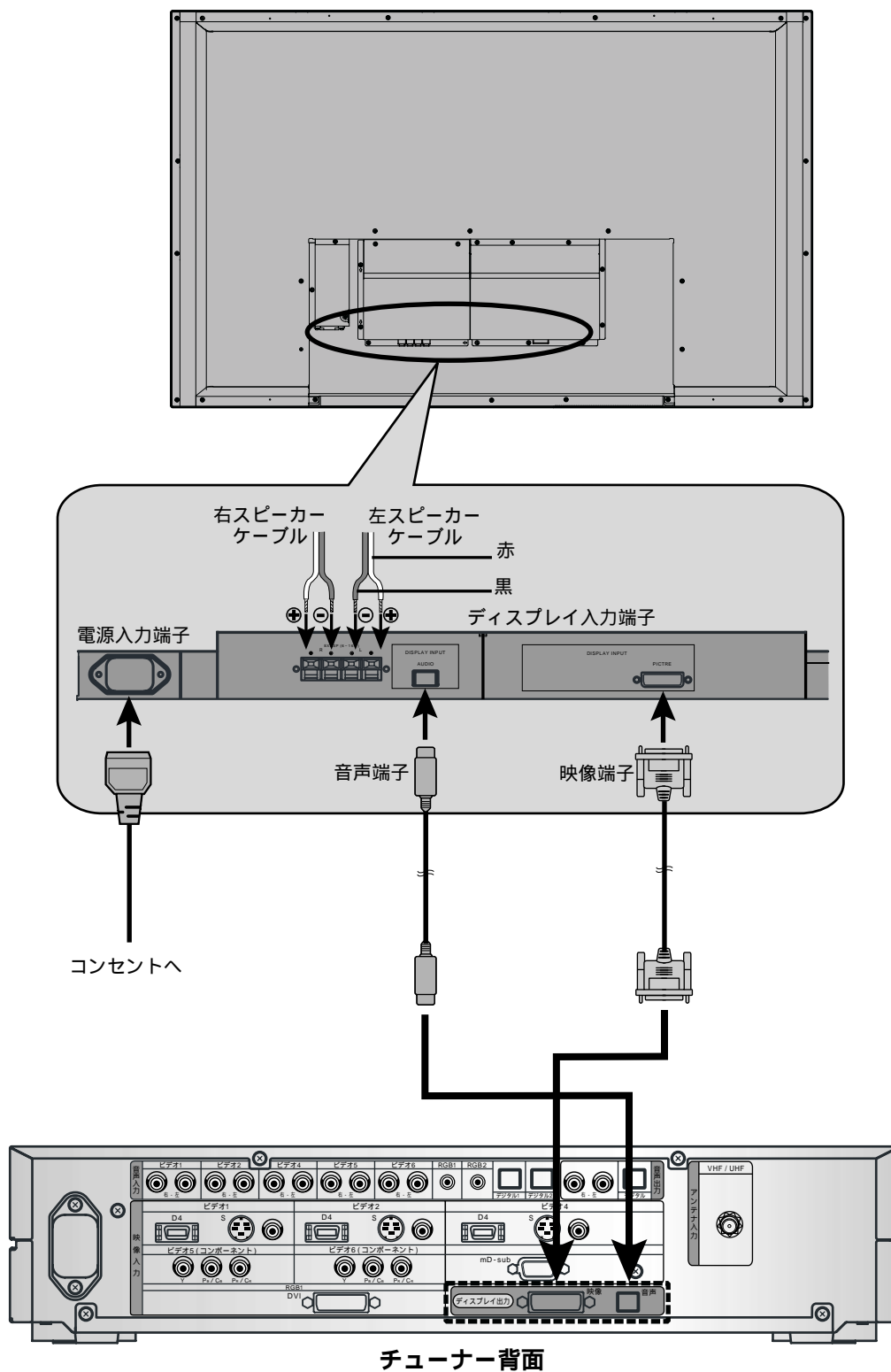
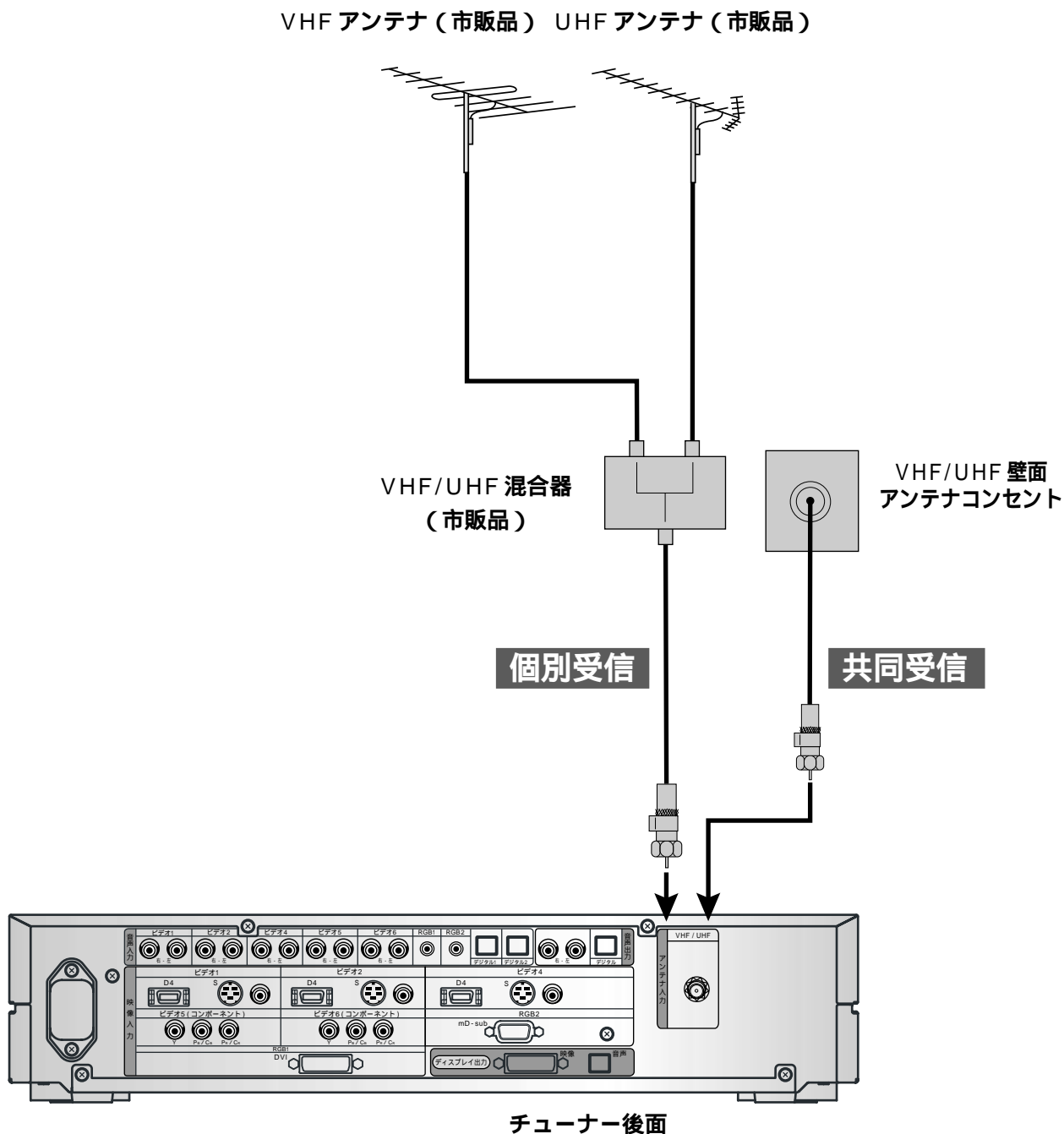
フェライトコアは不要電波を軽減するために使用します。

●フェライトコア…2 個
外部スピーカー出力端子にケーブルを接続するときは、
端子近くに右図のように取り付けてください。

基本システムの接続

1. チューナーとディスプレイに以下のものを接続する

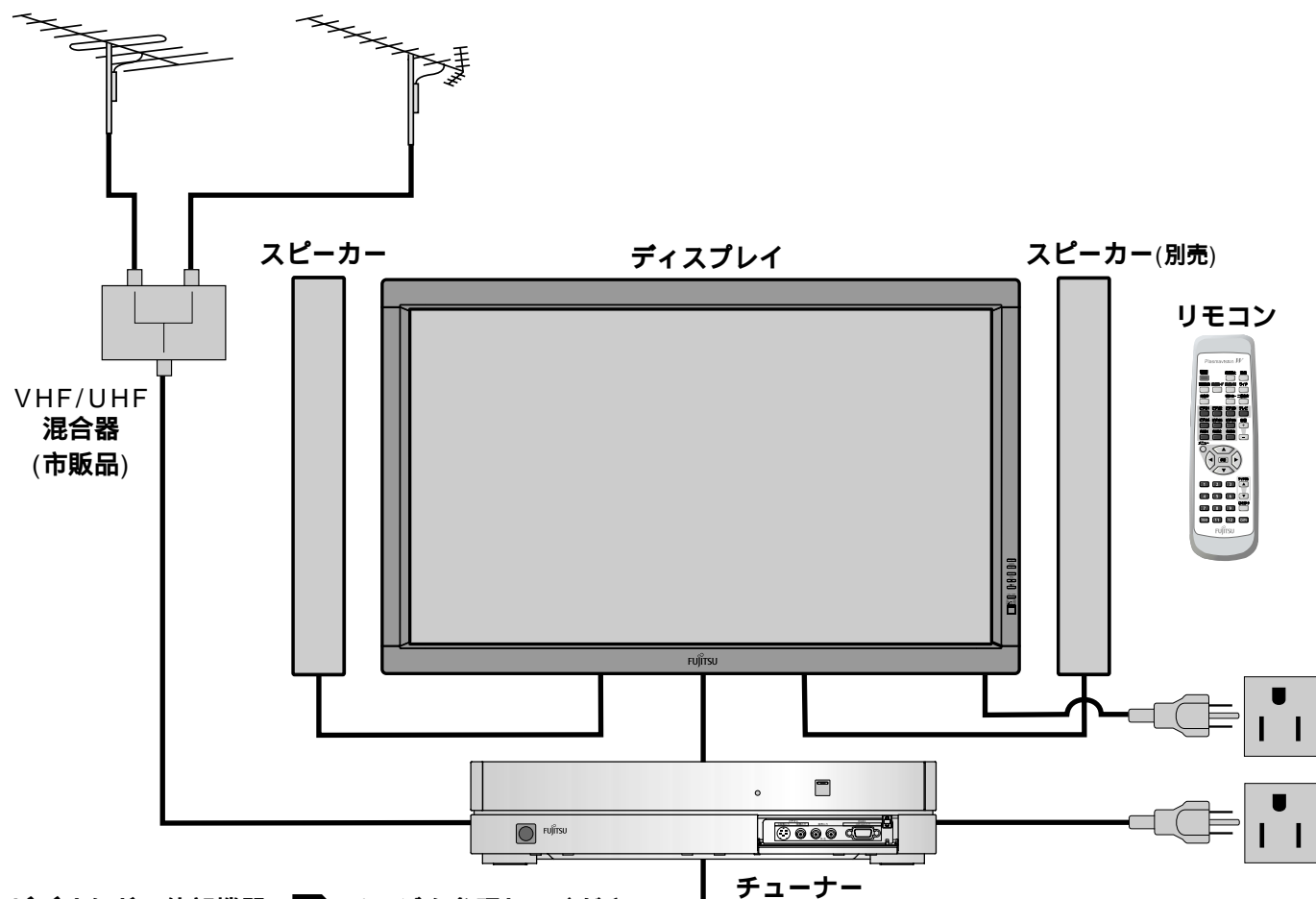
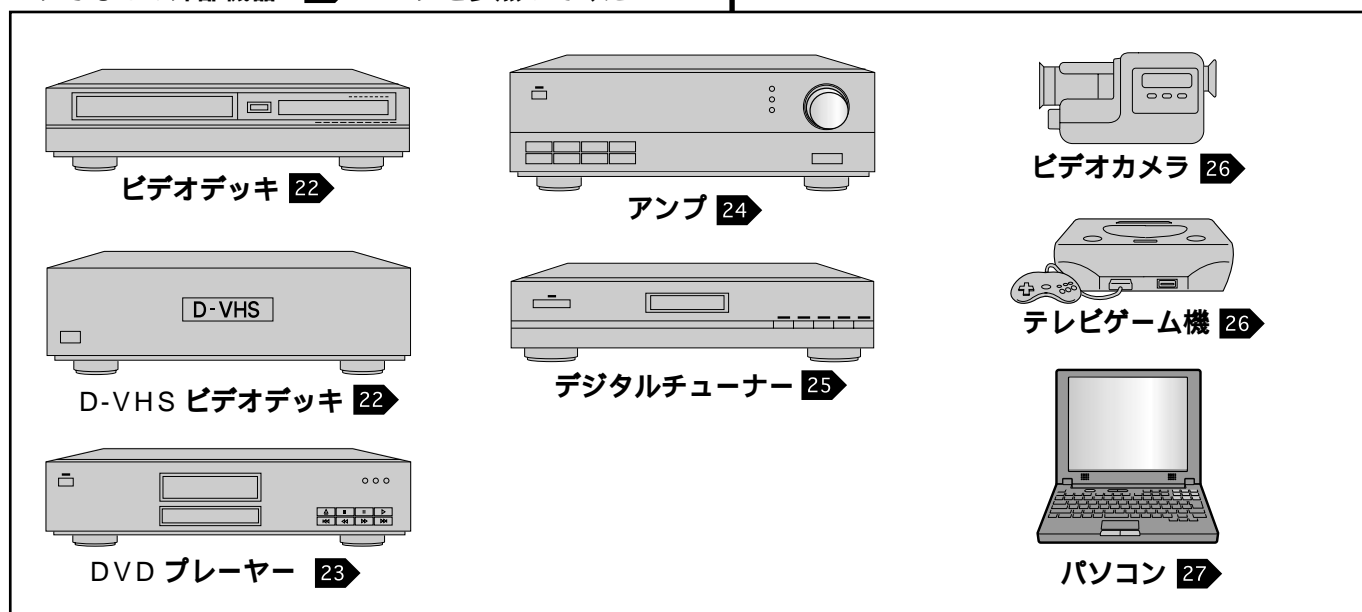
①チューナーとディスプレイ
　付属のシステム接続ケーブルで接続してください。（詳しくは、右ページをご覧ください）
②アンテナ線
　詳しくは、20 ページをご覧ください。
③スピーカー
　スピーカーの接続はスピーカーに付属されている取扱説明書をご覧ください。

2. 電源コードを接続する

・ディスプレイ、チューナーの電源プラグを 3 芯コンセントに接続してください。

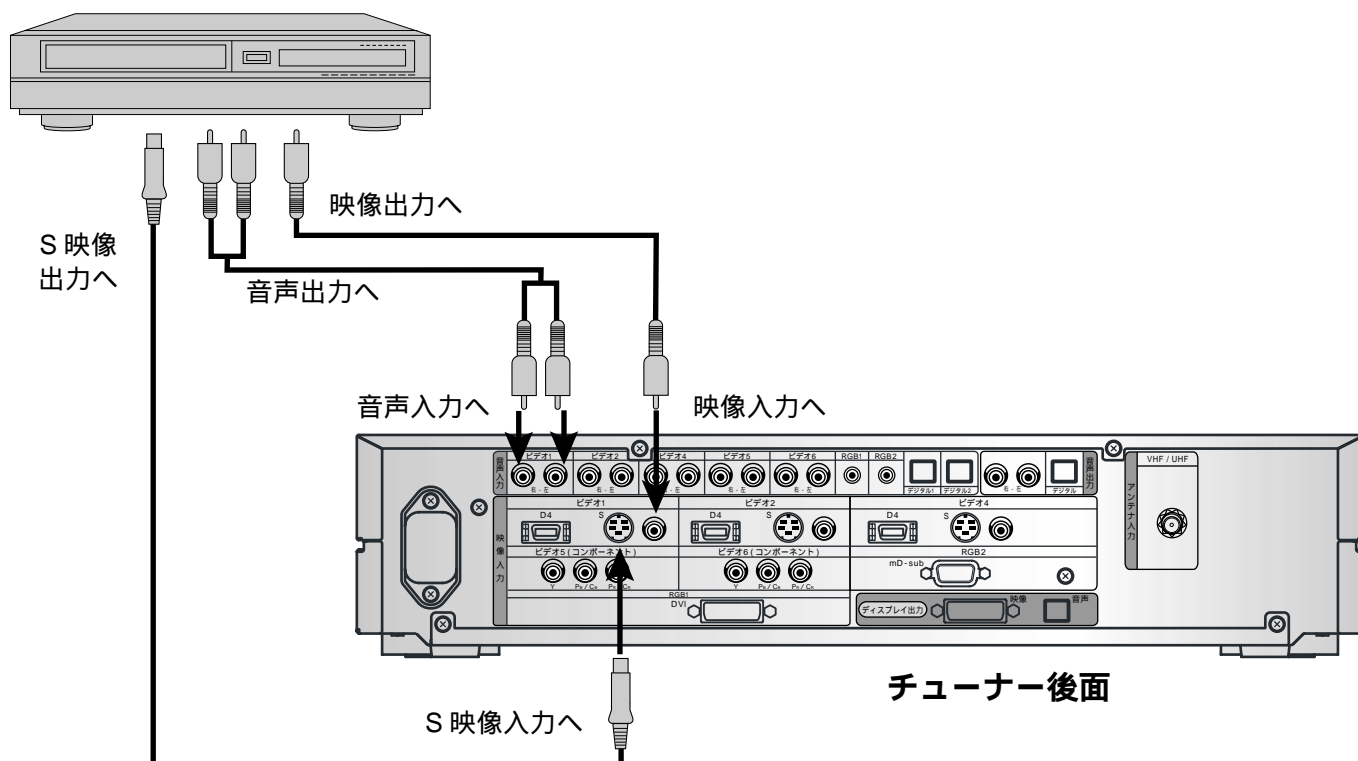
ディスプレイとチューナーの接続

アンテナの接続

・チューナー後面の VHF/UHF アンテナ入力端子に接続します。

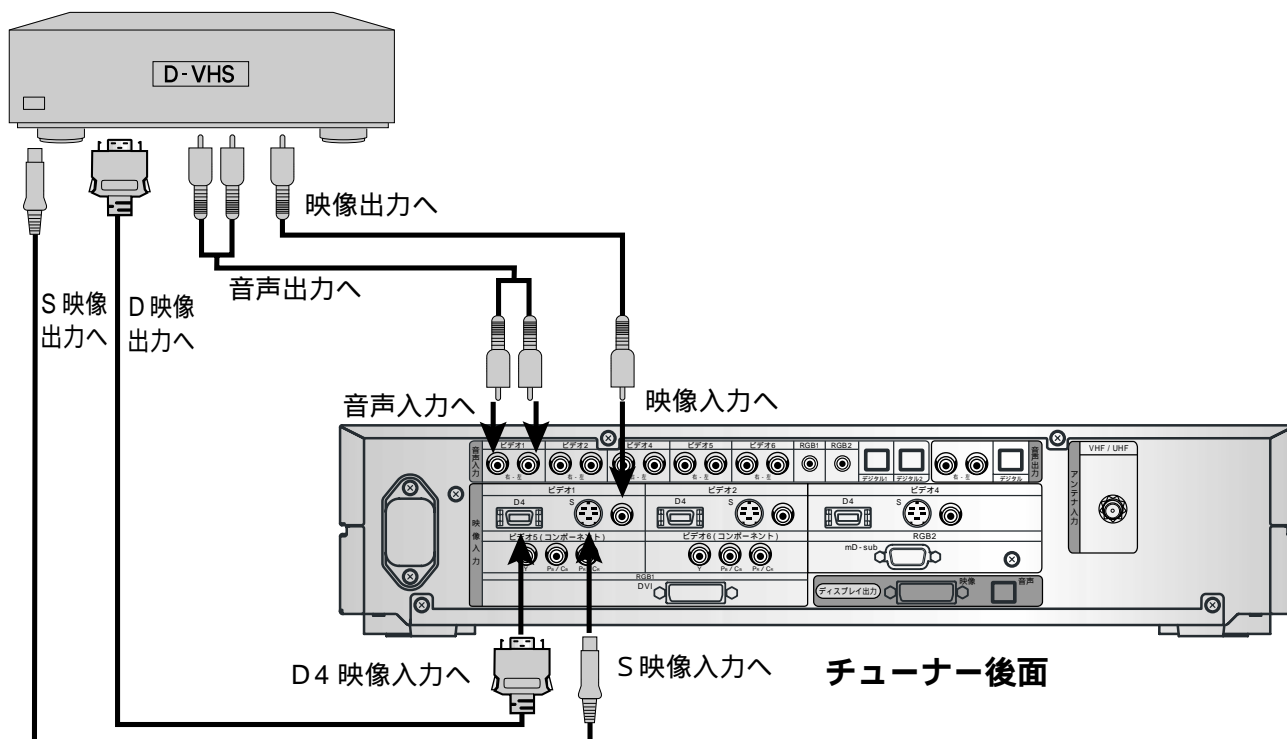
・CATV を受信される場合は、地域の CATV 会社にお問い合わせください。

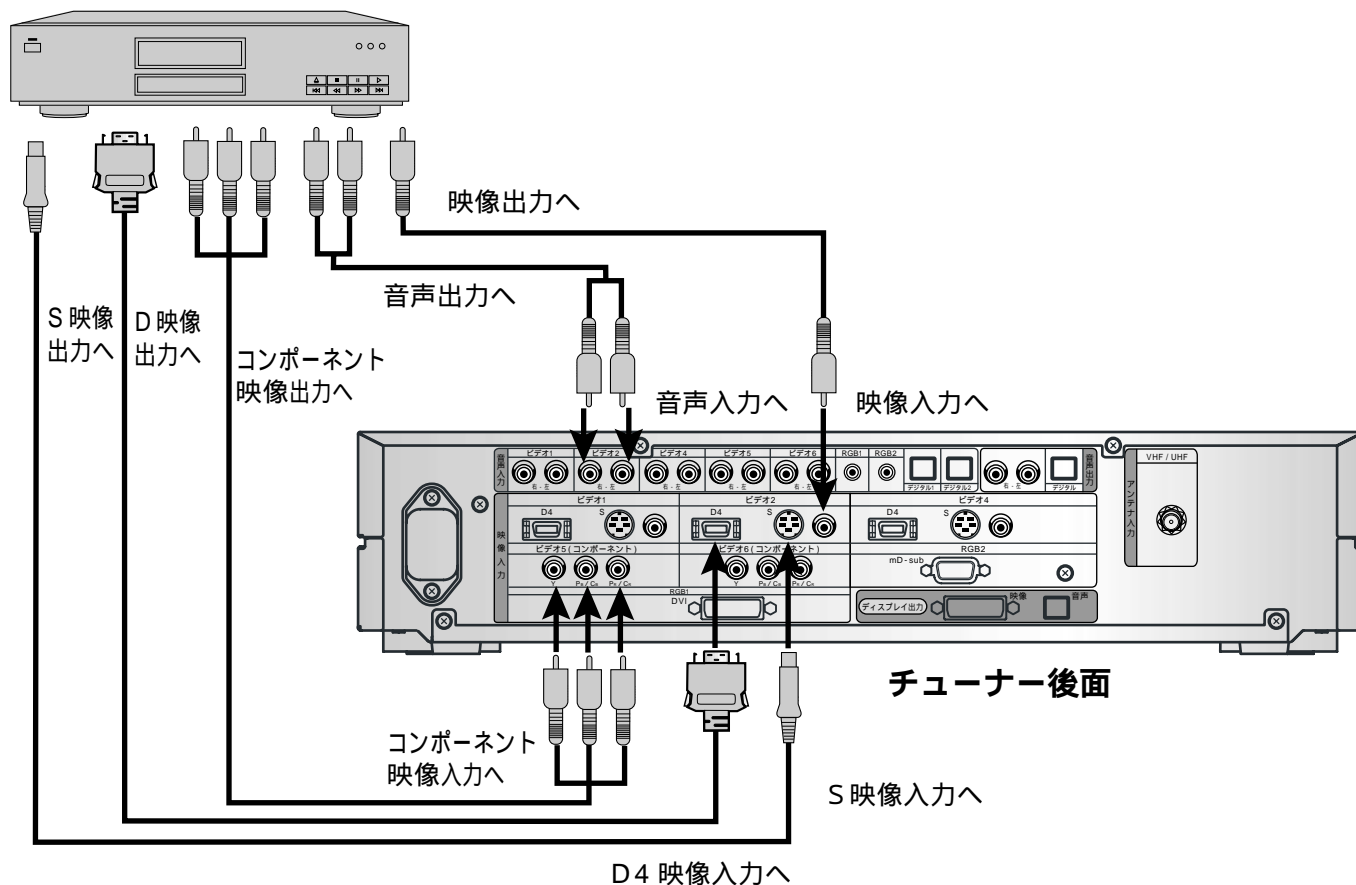
外部機器との接続例

※外部機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
※接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

外部機器の接続（つづき）

■ビデオデッキの場合

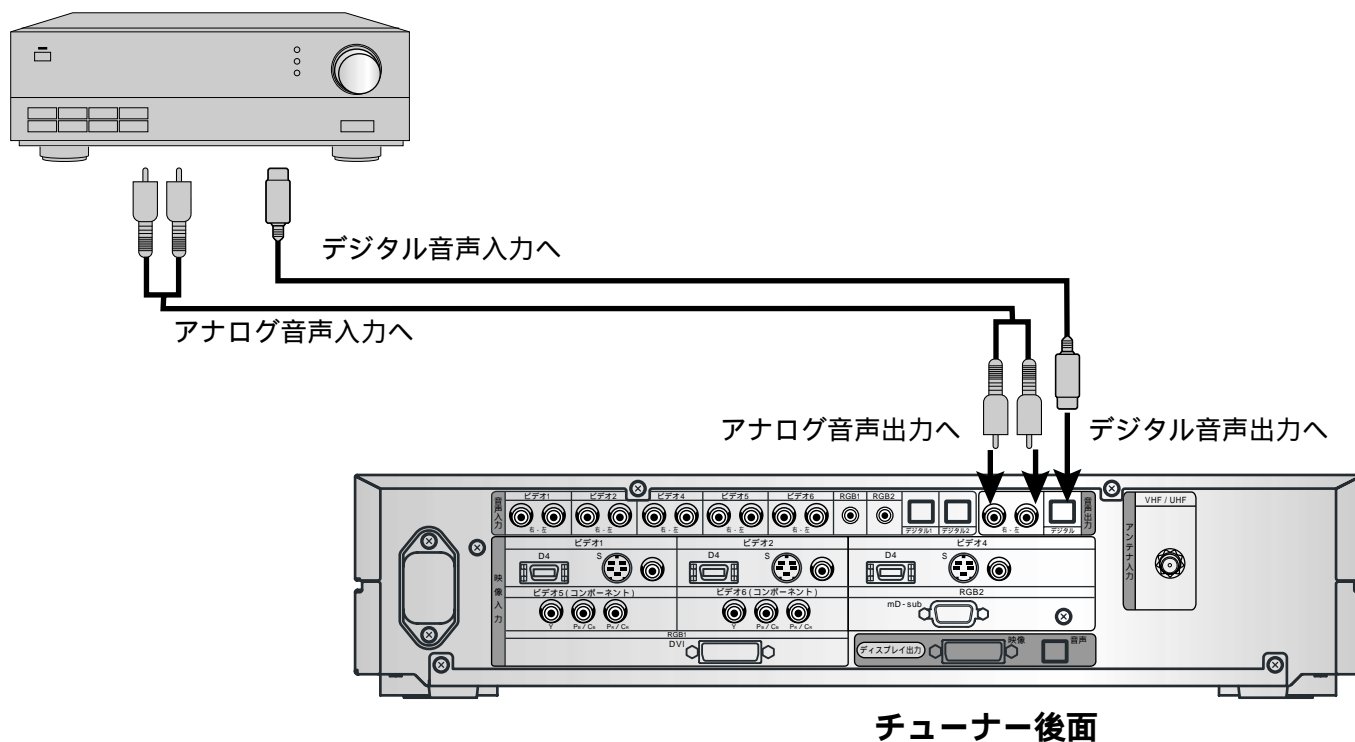
・映像信号ケーブルは S 映像入力または映像入力のどちらか一方に接続してください。
・接続する機器に S 映像出力があるときは、S 映像端子に接続することをお勧めします。

■ D-VHS ビデオデッキの場合

・映像信号ケーブルは D 映像入力、S 映像入力、映像入力のいずれかに接続してください。
・接続する機器に D 映像出力があるときは、D 映像端子に接続することをお勧めします。

■ DVD プレーヤーの場合

・映像信号ケーブルは D 映像入力、コンポーネント入力、S 映像入力、映像入力のいずれかに接続してください。
・接続する機器に D 映像出力、コンポーネント映像出力があるときは、そのいずれかの端子に接続することをお勧めします。

※外部機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
※接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
※音声を入力する場合はビデオ入力や RGB 入力と対応している端子に接続してください。

外部機器の接続（つづき）

■アンプの場合

・音声信号ケーブルはデジタル出力またはアナログ音声出力のどちらか一方に接続してください。
　※デジタル入力された信号はアナログ音声出力からは出力されません。
　※ディスプレイ側のデジタル音声入力はサンプリング周波数 48kHz に対応しています。
　その他の周波数を出力する場合はオーディオシステム（アンプ）と接続してお使いください。

■デジタルチューナーの場合

・アナログ放送受信用のテレビでデジタル放送をご覧になるには

別売のデジタルチューナーを接続することによりデジタル放送をご覧頂けます。ただし、受信する画質や縦横比（アスペクト比）はテレビの種類により異なります。なお、受信には、デジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。また、地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル共用タイプのチューナーであれば、1 台でそれぞれの放送をご覧頂けます。

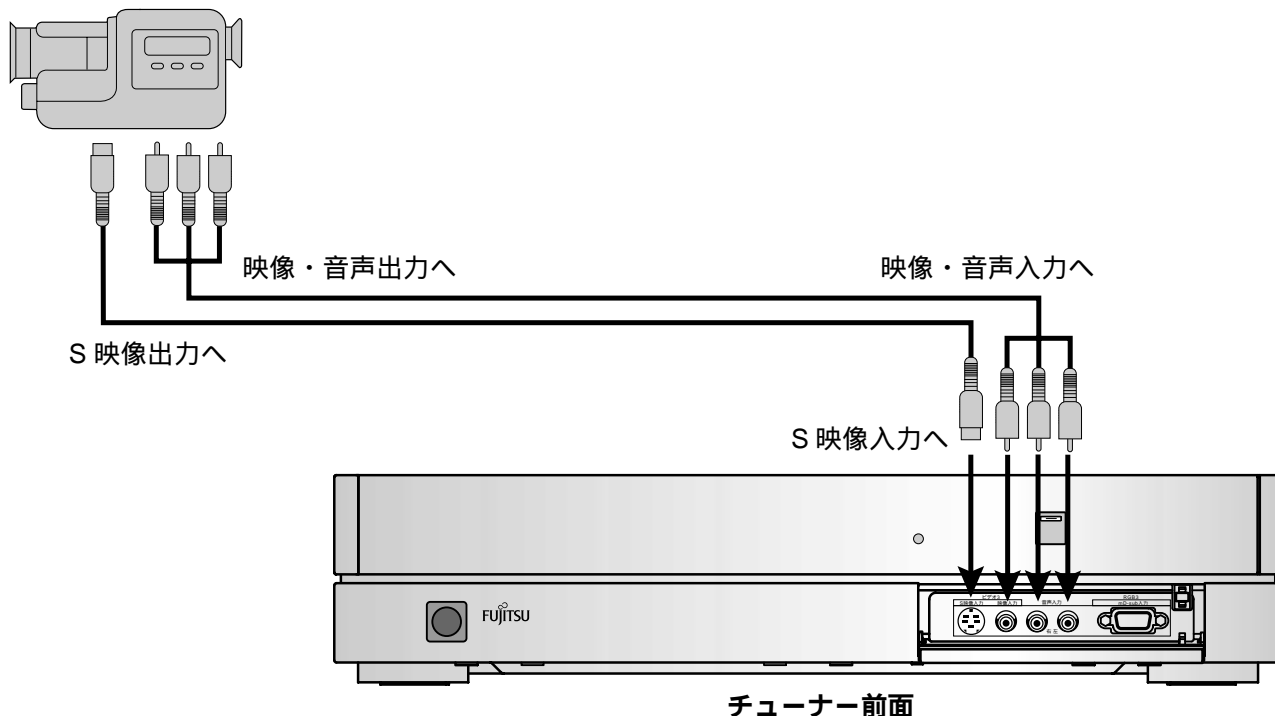
・映像信号ケーブルは D 映像入力、コンポーネント入力、S 映像入力、映像入力のいずれかに接続してください。
・接続する機器に D 映像出力、コンポーネント映像出力があるときは、そのいずれかの端子に接続することをお勧めします。

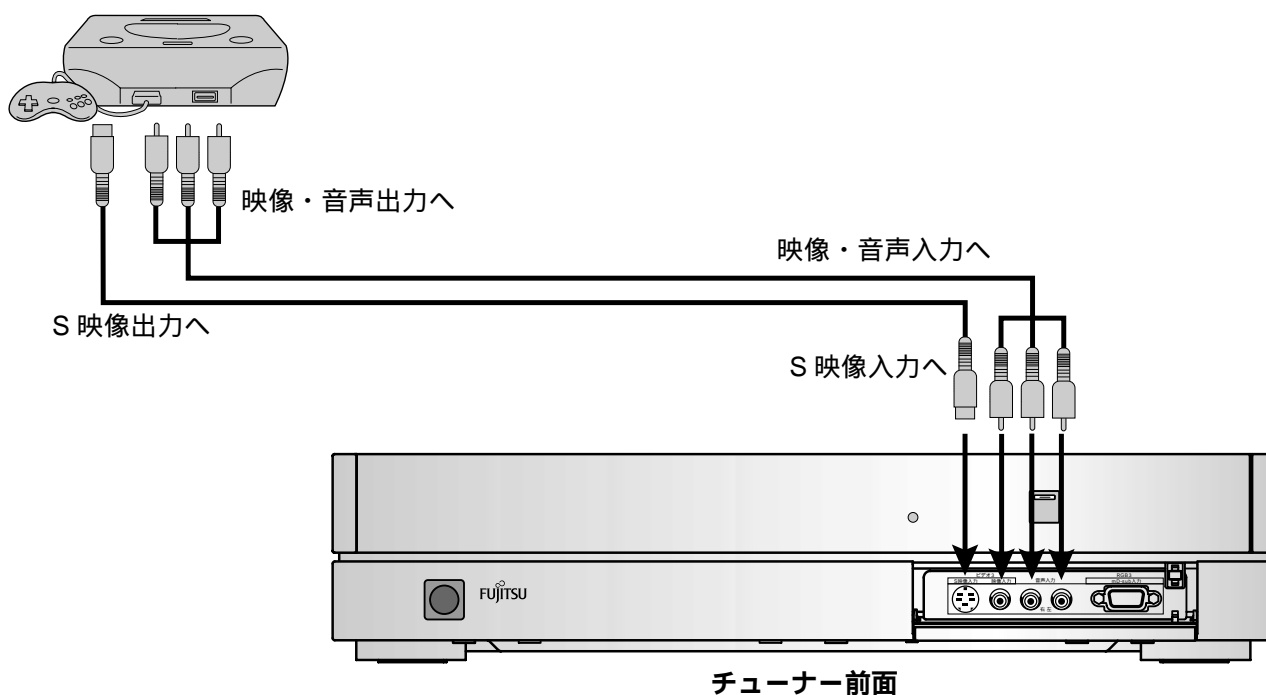
※外部機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
※接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
※音声を入力する場合はビデオ入力や RGB 入力と対応している端子に接続してください。

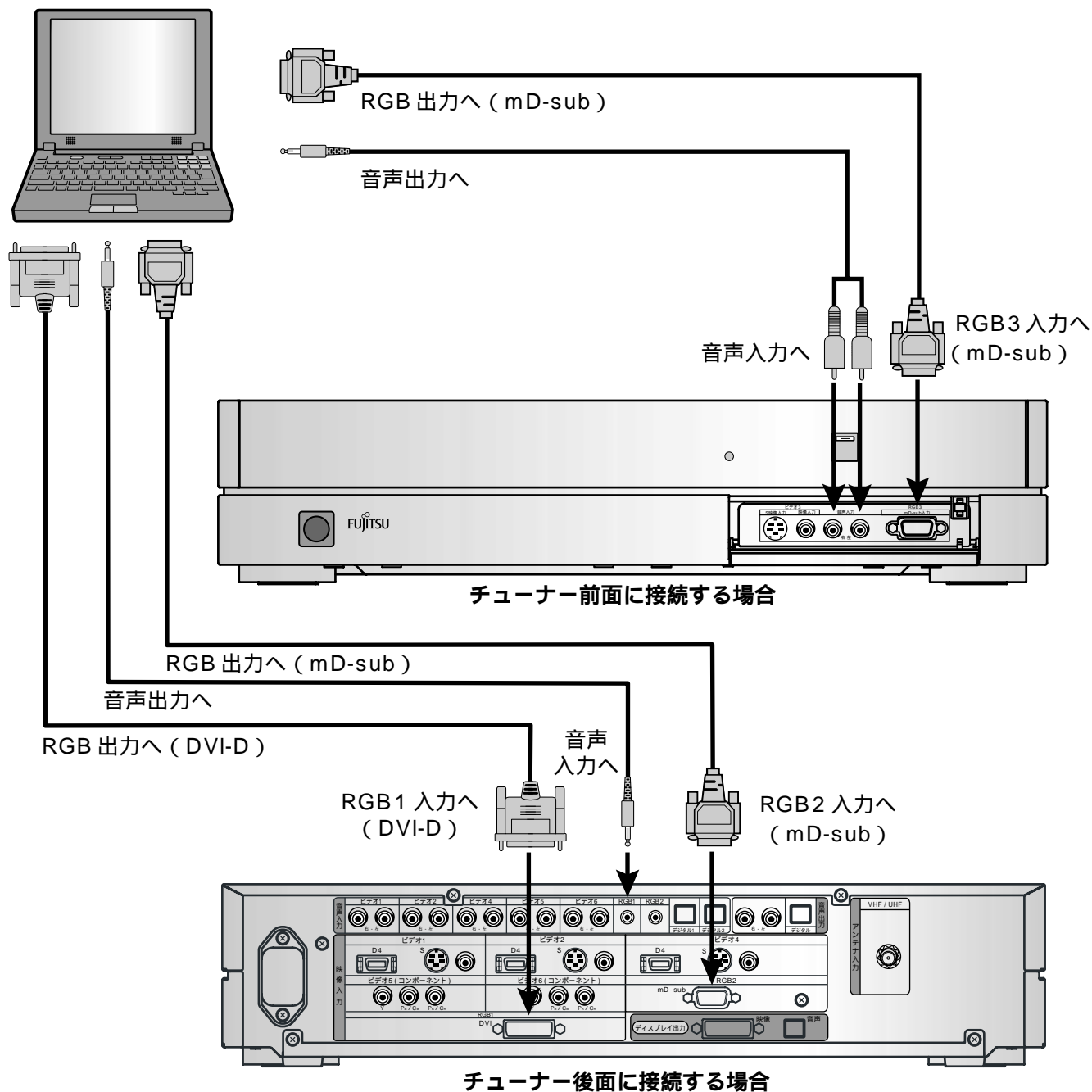
使い方

外部機器の接続（つづき）

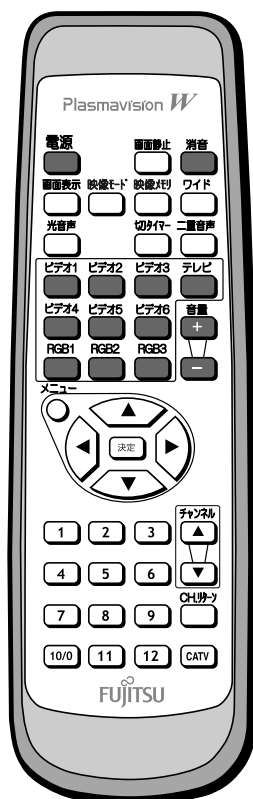
■ビデオカメラの場合

・ビデオカメラを接続するときは、前面のビデオ入力 3 に接続すると便利です。
・映像信号ケーブルは S 映像入力またはビデオ映像入力のどちらか一方に接続してください。
・接続する機器に S 映像出力があるときは、S 映像端子に接続することをお勧めします。

■テレビゲーム機の場合

・テレビゲーム機により、接続ケーブルが異なりますので、ゲーム機の取扱説明書をご確認ください。
・映像信号ケーブルは S 映像入力またはビデオ映像入力のどちらか一方に接続してください。
・長時間、連続して同一画像（パターン）を表示しないでください。長時間同一画像を表示した場合その部分の輝度が変化し、画面の一部に残像として見えることがあります。
・接続する機器に S 映像出力があるときは、S 映像端子に接続することをお勧めします。

■パソコンの場合

・パソコンとの接続ケーブルは、お持ちのパソコンにより異なりますので、お買上げ店に相談し、お買い求めください。
・使い方に合わせて、前面または背面のどちらか一方に接続してください。

※外部機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
※接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
※音声を入力する場合はビデオ入力や RGB 入力と対応している端子に接続してください。

基本操作

電源を「入」「切」する

※本機操作部のボタンでも操作ができます。

1 ディスプレイ底面左側の ⏻ / I ボタンを ⏻ に、チューナー前面左側のPOWERボタン「入」状態にする。

電源ランプが点灯します。

2 電源 を押す

電源ランプが「赤色」から「緑色」に変わります。

3 テレビ 、見たいチャンネルボタン、ビデオ1 ～ ビデオ6 または RGB1 ～ RGB3 を押す

テレビまたは入力する映像モードを選択します。

電源が「入」のときに 電源 を押す

電源ランプが「緑色」から「赤色」に変わり、電源が切れます。

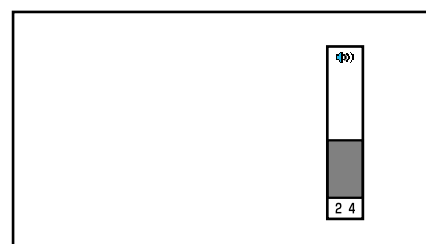
音量を調整する

音量ボタンを押す

音量 + 　音量が大きくなります。

音量 − 　音量が小さくなります。

0から40の範囲で調整できます。

＊電源を「切」にしても現在の音量が記憶されています。

音量ボタンを押したとき

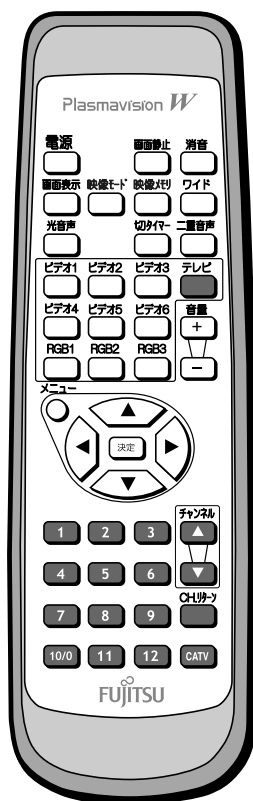
音を一時消したいとき

消音 　ボタンを押す。

消音状態になります。

もう一度押すと元の音量に戻ります。

音量ボタンを押しても、消音は解除されます。

テレビ放送を見る

※本機操作部のボタンでも操作ができます。

1 テレビ、チャンネルボタンを押す。

•テレビ ボタンを押す。

地上波放送／ CATV がご覧になれます。

最後に見ていたテレビチャンネルが受信されます。

•見たいチャンネルボタン 1 ～ 12 をダイレクトで押す。

選んだチャンネルに切り換わります。

※ 10 キー選局設定のときは、1 ～ 10/0 でお好みのチャンネル番号（1 ～ 62）を選局してください。

※CATVをご覧になる場合は CATV ボタンを押した後に 1 ～ 10/0 ボタンでお好みのチャンネル番号（C13～C38）を入力してください。

※ CATV（ケーブルテレビ）はサービスの行われている地域だけで受信ができます。CATV を受信するには使用する機器ごとに CATV 各社との受信契約が必要です。詳しくは CATV 各社にご相談ください。

•▲ ～ ▼ ボタンを押す。

下図のようにチャンネルが切り換わります。

チャンネル ▲ :→1→2→ 3 …10→11→12

チャンネル ▼ :→12→11→10… 3→ 2→1

※キー選択をダイレクトにして、1 ～ 12 チャンネルを設定した例

8 チャンネルを選択したとき

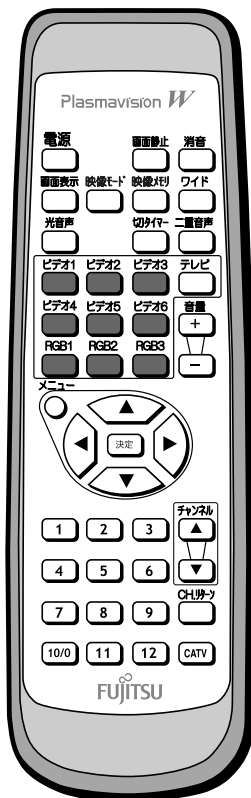
CH. リターン

CH.リターン **ボタンを押す。**

前に見ていたチャンネルやビデオ、RGB などのモードに戻ります。

※キー選択については 46 ～ 47 ページ参照

入力モードを選択する

ビデオ入力モード

※本機操作部のボタンでも選択ができます。

1 ビデオ1 ～ ビデオ6 **ボタンを押して入力モードを選択する。**

ビデオ 1 モードからビデオ 6 モードまで、選択できます。

各ビデオモードの入力端子は下記の通りです。

- **ビデオ 1：映像／ S 映像／ D4 映像**
- **ビデオ 2：映像／ S 映像／ D4 映像**
- **ビデオ 3：映像／ S 映像**
- **ビデオ 4：映像／ S 映像／ D4 映像**
- **ビデオ 5：コンポーネント映像**
- **ビデオ 6：コンポーネント映像**

※入力端子の選択については「入力端子設定（45 ページ）」を参照ください。

ビデオ1

ビデオ 1 モード を選択したとき

RGB 入力モード

1 RGB1 ～ RGB3 **ボタンを押して入力モードを選択する。**

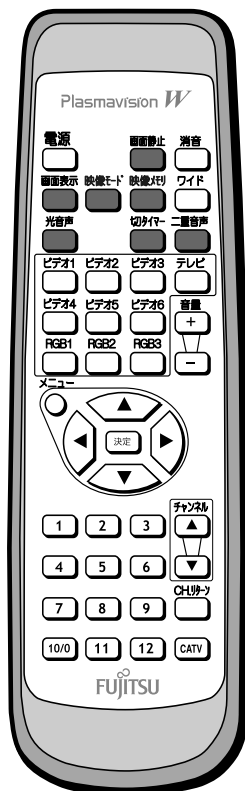
RGB1 モードから RGB3 モードまで、選択できます。

各 RGB モードの入力端子は下記の通りです。

- **RGB1：DVI-D**
- **RGB2：mD-sub**
- **RGB3：mD-sub**

RGB1 モードを選択したとき

その他の基本操作

便利な機能

• 画面静止

画面静止
ボタンを押す。

今、見ている映像を静止画面で見ることができます。
メモなどをとったりするときに便利です。もう一度押すと元の画面に戻ります。

• チャンネルなどの画面表示

画面表示
ボタンを押す。

5 秒間チャンネルやモードの表示をします。

• 映像モード

映像モード
ボタンを押す。

映像モードの切り換えができます。
映像モードで設定した状態とファインモードの切り換えができます。
※映像モードの設定については『映像モードを設定する（36 ページ）』を参照ください。

• 映像メモリ

映像メモリ
ボタンを押す。

映像メモリ 1 ～ 8 の設定を呼び出すことができます。押すごとに下図のように切り換わります。

→メモリ1→メモリ2→メモリ3→メモリ4→メモリ5→メモリ6→メモリ7→メモリ8

※映像メモリの設定については『映像メモリ（37 ページ）』を参照ください。

• 光音声

光音声
ボタンを押す。

入力されている音声を切り換えます。押すごとに下図のように切り換わります。

→アナログ → デジタル1→ デジタル2

※ディスプレイ側のデジタル音声入力はサンプリング周波数 48kHz に対応しています。
その他の周波数を出力する場合はオーディオシステム(アンプ)と接続してお使いください。

• 二重音声

二重音声
ボタンを押す。

二重音声放送時に音声モードを選択できます。押すごとに下図のように切り換わります。

→主音声 → 副音声 → 主＋副

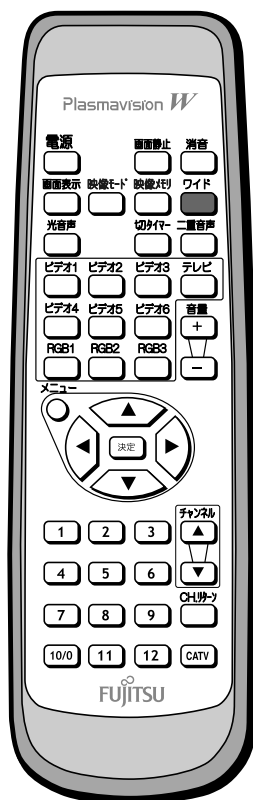
• 切タイマー

切タイマー
ボタンを押す。

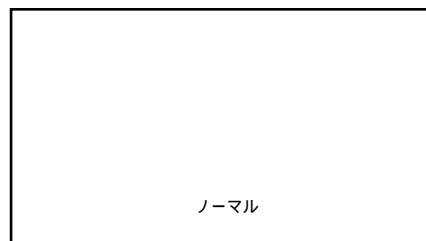
電源が切れる時間を指定できます。押すごとに下図のように切り換わります。

→ 切 →30分 → 60分 → 90分 → 120分

ワイド画面で見る

画面サイズを切り換える

※本機操作部のボタンでも
調整・設定ができます。

1 ワイド を押す

現在の画面モードが表示されます。

ノーマルモードを選択したとき

2 ワイド で画面モードを選択する

押すごとに下図のようにモードが切り換わります。

ビデオ入力モード

→ノーマル → オート →すっきりワイド
ズーム2 ←ズーム1 ← フル ←

※コンポーネントビデオモードではオートを選択できません。

RGB 入力モード

→ノーマル → ワイド → ズーム

※信号の種類によっては選択できないモードがあります。

すっきりワイドを選択したとき

お知らせ ノーマルモードを長時間、連続して使用しますと画面が焼き付く場合がありますので、ご注意ください。

お願い 本機では、各種の画面モードを選択することができます。テレビ番組やビデオソフトなどの映像比率（画面の縦横比）と異なるモードを選択した場合、オリジナルの映像と見え方が違います。このことをご留意のうえで、画面モードを選択してください。

本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的としてイベント会場､飲食店などでご利用になる場合､オリジナルの映像比率と異なる画面モードで放映すると､著作権法で保護されている映像の著作権を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

制作者の意図を尊重するためには、オリジナルの映像比率と同じモードでご覧ください。

参照 画面のサイズ、位置を調整する方法は、38 ～ 39 ページを参照してください。

画面サイズ

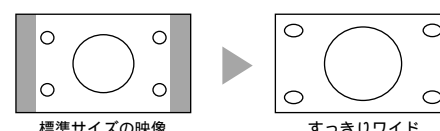
ノーマル

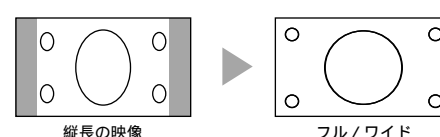
標準サイズ(横 4：縦 3 の比率)の映像をご覧になることができます。

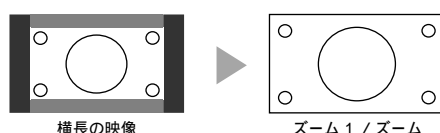
オート

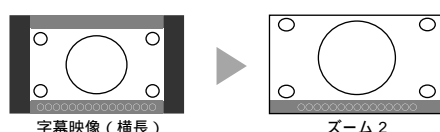
映像ソフトの内容によって、自動的に画面サイズが切り換わります。

すっきりワイド

標準サイズの映像を、違和感の少ないワイド画面としてご覧になれます。

フル／ワイド

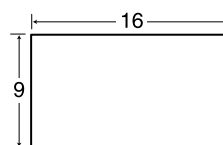
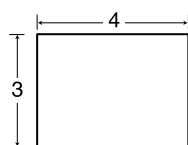
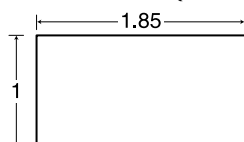
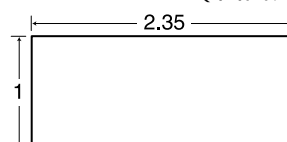
16：9 の映像を 4：3 に圧縮した縦長の映像（スクイーズ映像)をご覧になる場合に最適です。

ズーム 1 ／ズーム

横長の映像を、縦横の比率を保ったまま均等に拡大して、ご覧になれます。

ズーム 2

字幕付きの横長映像をご覧になるときに、字幕が欠けない程度に垂直方向を縮小します。（映像によっては字幕が見えにくい場合もあります）

映像比率(アスペクト)とは

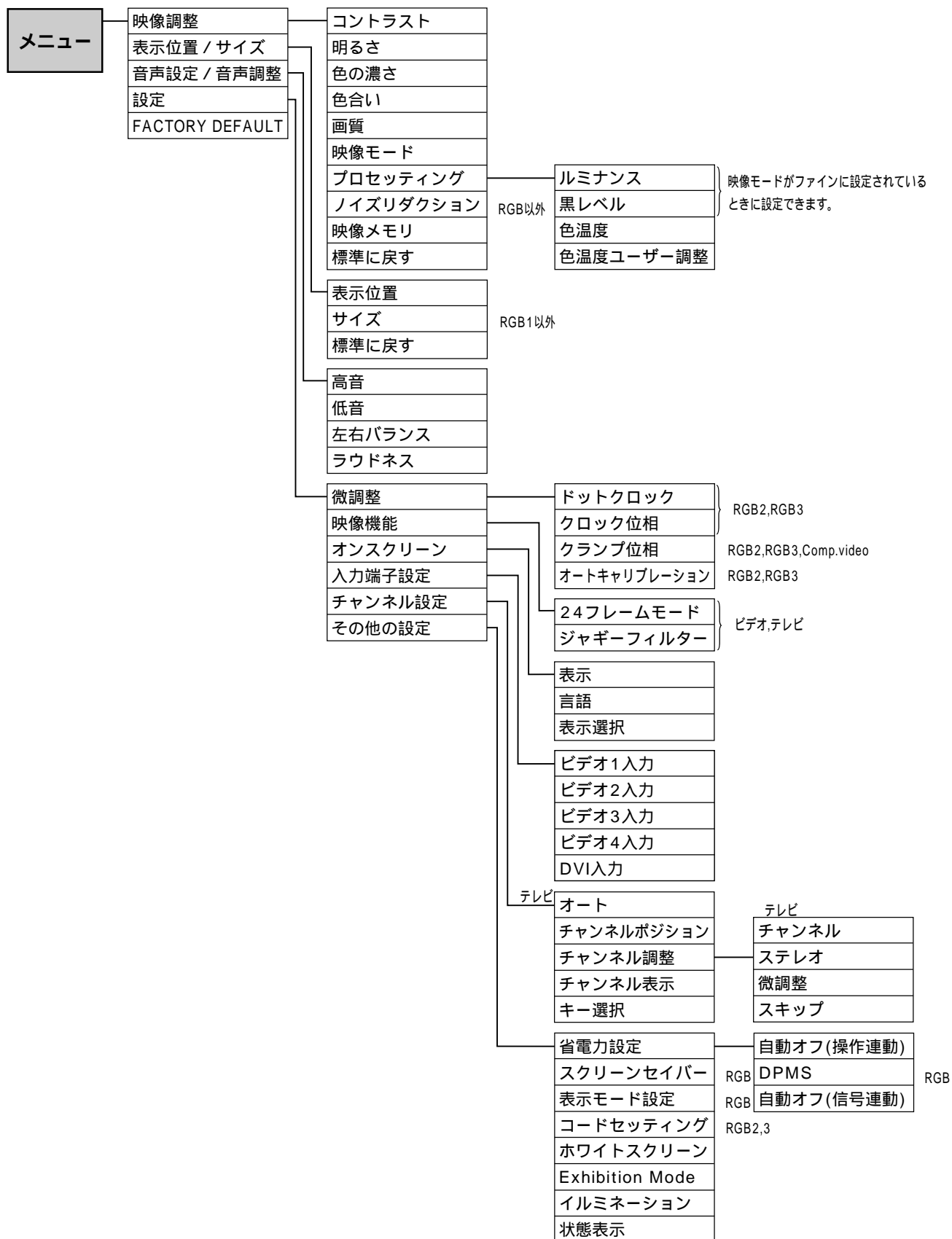
映像比率(画面の縦横比)には次の種類があります。

VHF/UHF 放送,BS 放送（画面比率 4：3）

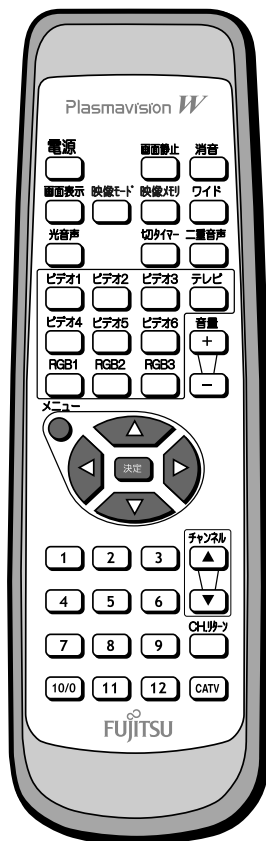
ハイビジョン放送,ワイドクリアビジョン（画面比率 16：9）

ビスタビジョンサイズ（画面比率 1.85：1）

シネマビジョンサイズ（画面比率 2.35：1）

お知らせ 映像ソフトによく見られるビスタビジョンサイズソフトやシネマビジョンサイズソフトをズームに設定しても、画面の上下に黒い部分が残る場合があります。

メニュー階層一覧表

※信号の種類によっては選択できない場合があります。

映像を調整する

基本手順［例：色合いを調整する］

●映像に関する項目は映像調整画面から調整・設定できます。
●調整・設定する入力モードを選びます。（調整・設定する内容は各入力モードごとに記憶します）

メニュー表示

1 メニュー ◯ **を押す**

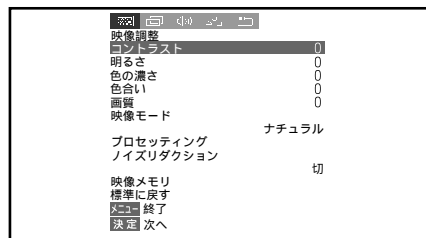
メインメニュー画面が表示されます。

映像調整を選択した画面（ビデオ入力モード）

2 ◀ ▶ **を押して、映像調整を選択する**

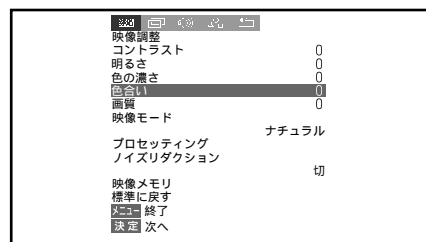
押すごとに、表示が切り換わります。

映像調整←→表示位置／サイズ←→音声設定／音声調整←→設定←→FACTORY DEFAULT

映像調整**メニュー画面が表示されます。**

項目選択

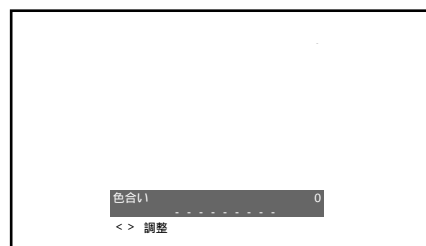
3 ▲ ▼ **を押して、色合いを選択する**

4 決定 **を押す**

調整画面が表示されます。

色合いを選択した画面（ビデオ入力モード）

項目調整

5 ◀ ▶ **を押して、色合いを調整する**

▶を押す…緑がかった色あいになります。
◀を押す…紫がかった色あいになります。

色合い調整画面

6 決定 **を押して、記憶する**

終了

メニュー ◯ **を押して、終了する**

＊他の項目も調整する場合は、3 ～ 6 の操作を繰り返します。
＊「標準に戻す」を選択し、 決定 **を押すとお買い上げ時の設定に戻ります。**

※約 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

映像を調整する（つづき）

コントラスト、明るさ、色の濃さ、色合い、画質については下記一覧表の通りです。

▲▼ で項目を選択し、◀ ▶で調整する。最後に 決定 を押して記憶する。

調整項目	◀	▶	調整範囲／備考
コントラスト	コントラストが弱くなります	コントラストが強くなります	−30〜+30
明るさ	暗くなります	明るくなります	−60〜+60
色の濃さ	色が薄くなります	色が濃くなります	−60〜+60
色合い	紫がかった色合いになります	緑がかった色合いになります	−60〜+60（RGB,Comp.video） −30〜+30（Video,S-video）
画質	やわらかい画質になります	くっきりした画質になります	−4〜+4（RGB） −16〜+16（RGB以外）

映像モードを設定する

映像モードの設定ができます。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→ナチュラル↔ファイン↔エフェクト↔クラシック↔スチール←

ナチュラル　：自然な色調と高精彩な映像をご覧になれます。通常の動画に適しています。（標準）
ファイン　　：映画などの暗い映像をご覧になるときに適しています。
エフェクト　：コントラスト感のある画面になります。
クラシック　：従来のテレビに近い画面になります。
スチール　　：静止画をご覧になるときに適しています。

決定 を押して記憶します。

プロセッティング（より高度な調整が行えます）

ルミナンス、黒レベル、色温度、色温度ユーザー調整については下記一覧表の通りです。
▲▼ で項目を選択し、◀ ▶で調整する。
最後に 決定 を押して記憶する。

調整項目	調整内容	操作方法	調整範囲／備考
ルミナンス	輝度のレベルを調整します （映像モードがファインのとき）	◀ ▶で調整します	40〜100%
黒レベル	暗い映像をご覧になる場合に 調整します（映像モードがファインのとき）	◀ ▶で調整します	−15〜+15
色温度	低くすると暖かい雰囲気、 高くすると冷たい雰囲気になります	◀ ▶で調整します	−3500〜+3500
色温度 ユーザー調整	赤,緑,青を個別に調整できます	▲▼で選択し、 ◀ ▶で調整します	0〜255

ノイズリダクションの設定

入力信号のノイズレベルに応じたノイズ軽減処理（ざらついた画面を見易くします）を設定することができます。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→ 切 ↔ 弱 ↔ 標準 ↔ 強 ←

切　：ノイズリダクションは機能しません。
弱　：弱いノイズ軽減処理
標準：標準のノイズ軽減処理
強　：強いノイズ軽減処理

決定を押して記憶します。

※ジャギーフィルター機能が「入」のときは設定できません。
※信号の種類によっては選択できない場合があります。

映像メモリ

映像調整で設定した調整状態を 8 パターン記憶します。
お好みに合わせて読み出し、保存してください。

・呼出しの場合

お好みの設定を読み出してください。

① 映像メモリを選択して、決定を押す。
映像メモリ画面が表示されます。
② ▲▼を押して呼出しを選択して、決定を押す。
③ 呼出しする Data 番号を選択する。
④ 決定を押して読み出します。

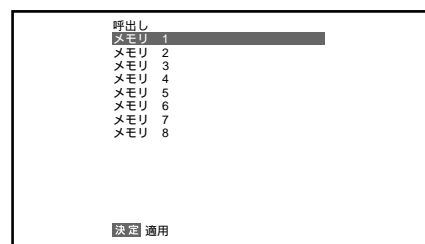
・登録の場合

お好みに合わせて設定し、保存してください。

① 映像メモリを選択して、決定を押す。
映像メモリ画面が表示されます。
② ▲▼を押して登録を選択して、決定を押す。
③ 登録する Data 番号を選択する。
④ 決定を押して記憶します。

映像メモリ選択画面

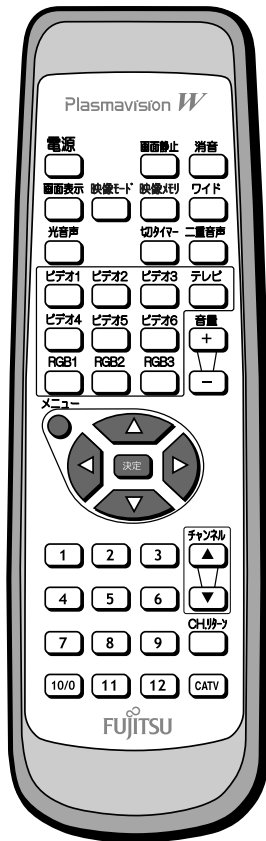
呼出し選択画面

設定・調整

表示位置／サイズを調整する

基本手順［例：表示位置の水平方向を調整する］

●表示位置に関する項目は表示位置／サイズメニュー画面から調整・設定できます。
●調整・設定する内容は各入力モードごとに記憶しますので、調整・設定する入力モードを選択してから以下の操作を行ってください。

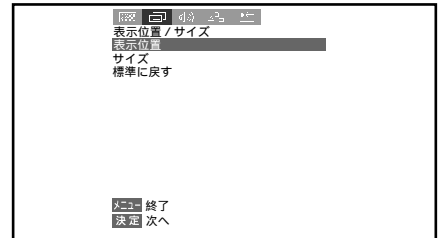
メニュー表示

1 メニュー を押す

メインメニュー画面が表示されます。

2 ◀ ▶ を押して、表示位置／サイズを選択する

押すごとに、表示が切り換わります。

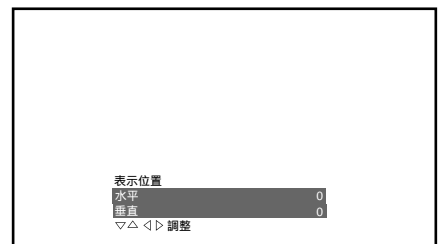
映像調整←→表示位置／サイズ←→音声設定／音声調整←→設定←→FACTORY DEFAULT

表示位置／サイズ画面が表示されます。

表示位置／サイズを選択した画面

項目選択

3 ▲ ▼ を押して、表示位置を選択する

4 決定 を押す

表示位置調整画面が表示されます。

表示位置を選択した画面

項目調整

5 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して、表示位置を調整する

▲ を押す…表示位置が上に移動します。
▼ を押す…表示位置が下に移動します。
▶ を押す…表示位置が右に移動します。
◀ を押す…表示位置が左に移動します。

6 決定 を押して、記憶する

終了

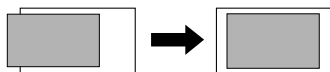
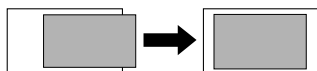
メニュー を押して、終了する

＊他の項目も調整する場合は、3 ～ 6 の操作を繰り返します。
＊「標準に戻す」を選択し、決定 を押すとお買い上げ時の設定に戻ります。

表示位置を調整する

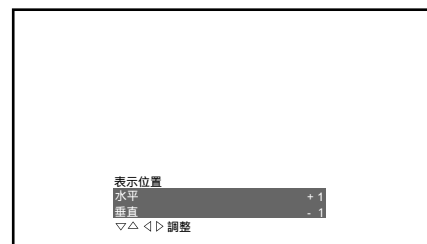
表示位置調整画面

水平位置

を押す：水平位置が右に移動します。

を押す：水平位置が左に移動します。

垂直位置

を押す：垂直位置が上に移動します。

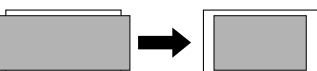
を押す：垂直位置が下に移動します。

決定を押して記憶します。

サイズを調整する

サイズ調整画面

幅

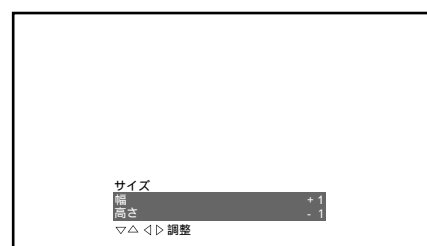
を押す：画面の幅が大きくなります。

を押す：画面の幅が小さくなります。

高さ

を押す：画面の高さが大きくなります。

を押す：画面の高さが小さくなります。

決定を押して記憶します。

※ RGB1(DVI-D)モードの Size 設定はありません。

調整値

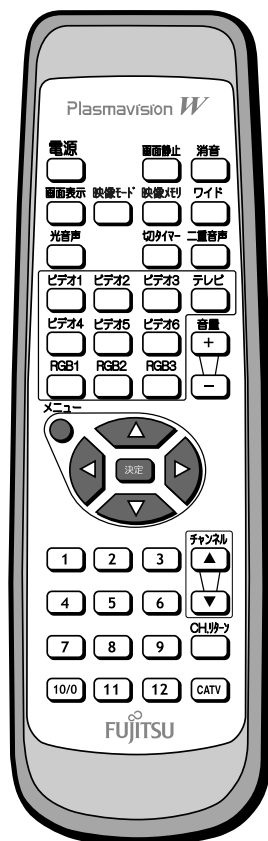
	ビデオモード時	コンポーネントビデオモード時	RGBモード時
表示位置	水平 −30〜+30 垂直 ズームのとき −15〜+15 その他のとき −7〜+7	−16〜+16	−150〜+150
サイズ	−3〜+12	−2〜+16	−12〜+25

＊ 入力信号によって調整範囲が異なる場合があります。

※約 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

音声を調整する

基本手順［例：左右バランスを調整する］

●音声に関する項目は音声設定／音声調整メニュー画面から調整・設定できます。
●調整・設定する内容は音声入力ごとに記憶しますので、調整・設定する入力モードを選択してから以下の操作を行ってください。

メニュー表示

1 メニュー を押す

メインメニュー画面が表示されます。

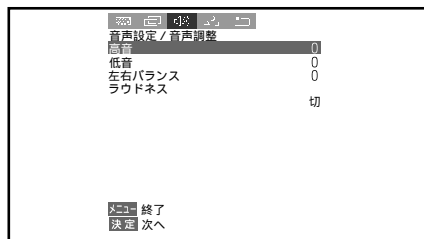
2 ◀ ▶ を押して、音声設定／音声調整を選択する

押すごとに、表示が切り換わります。

映像調整←→表示位置／サイズ←→音声設定／音声調整←→設定←→FACTORY DEFAULT

音声設定／音声調整メニュー画面が表示されます。

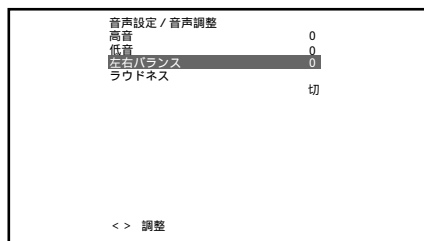
音声設定／音声調整を選択した画面

項目選択

3 ▲ ▼ を押して、左右バランスを選択する

4 決定 を押す

左右バランス調整画面が表示されます。

左右バランスを選択した画面

項目調整

5 ◀ ▶ を押して、左右の音量バランスを調整する

▶ を押す…右スピーカーからの音が強調されます。

◀ を押す…左スピーカーからの音が強調されます。

6 決定 を押して、記憶する

終了

メニュー を押して、終了する

＊他の項目も調整する場合は、3 ～ 6 の操作を繰り返します。

高音を調整する

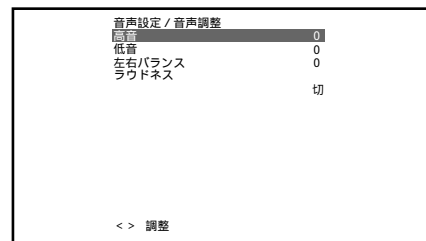
ー 6 から +6 の範囲で調整できます。

▶ を押す：高音が強調されます。

◀ を押す：高音が抑えられます。

音声設定／音声調整

高音	0
低音	0
左右バランス	0
ラウドネス	切

<> 調整

高音を選択した画面

低音を調整する

ー 6 から +6 の範囲で調整できます。

▶ を押す：低音が強調されます。

◀ を押す：低音が抑えられます。

左右バランスを調整する

ー 10 から +10 の範囲で調整できます。

▶ を押す：右スピーカーからの音が強調されます。

◀ を押す：左スピーカーからの音が強調されます。

ラウドネスの設定をする

低音と高音のバランスを補正して、小音量でも聞きやすくできます。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→ 切 ↔ 弱 ↔ 中 ↔ 強 ←

切：ラウドネスは機能しません。

他：低音と高音の補正をします。

設定・調整

※約 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

その他の設定

基本手順［例：言語を切り換える］

●その他の調整・設定については設定メニュー画面から行います。

メニュー表示

1 メニュー を押す

メインメニュー画面が表示されます。

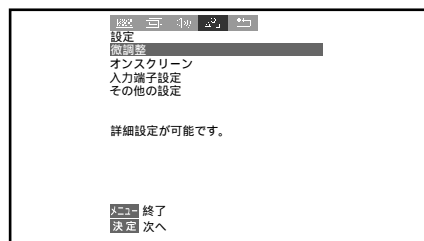
設定を選択した画面

2 ◀ ▶ を押して、設定を選択する

押すごとに、表示が切り換わります。

映像調整←→表示位置／サイズ←→音声設定／音声調整←→設定←→FACTORY DEFAULT

設定メニュー画面が表示されます。

項目選択

3 ▲ ▼ を押して、オンスクリーンを選択する

調整・設定する項目により下記の項目から選択します。

- 微調整
- 映像機能
- オンスクリーン
- 入力端子の設定
- チャンネル設定
- その他の設定

オンスクリーン
表示　入（明るい）
言語
表示選択

決定 適用

オンスクリーンを選択した画面

4 決定 を押す

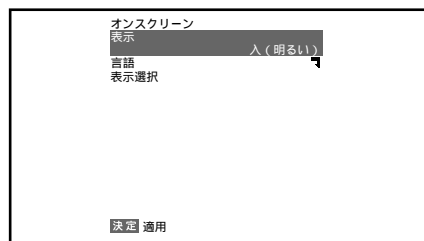
オンスクリーンメニューが表示されます。

5 ▲ ▼ を押して、言語を選ぶ

6 決定 を押す

言語選択画面が表示されます。

言語選択画面

項目調整

7 ▲ ▼ を押して、表示したい言語を選択する

8 決定 を押す

選択した言語でメニューが表示されます。

終了

メニュー を押して、終了する

＊他の項目も調整する場合は、3 ～ 8 の操作を繰り返します。

設定画面は下記の 6 つの項目に区別されています。

- 微調整　　　　: ドットクロックやクロック位相など映像の微調整ができます。 →43ページ
- 映像機能　　　: 24 フレームモードとジャギーフィルター設定ができます。 →43～44ページ
- オンスクリーン: 表示や言語など表示設定ができます。 →44～45ページ
- 入力端子の設定: ビデオ入力やカラー方式の設定ができます。 →45ページ
- チャンネル設定: チャンネル設定ができます。 →46～47ページ
- その他の設定　: その他の設定ができます。 →47～49ページ

微調整

ドットクロック、クロック位相、クランプ位置、オートキャリブレーションについては下記一覧表の通りです。

▲▼ で項目を選択し、◀ ▶で調整する。最後に 決定 を押して記憶する。

調整項目	調整内容	操作方法	調整範囲／備考
ドットクロック (RGB2,RGB3)	パソコンのクロック周波数の違いによって画面に縦縞模様が出ることがあり、その場合はドットクロックを調整します。	◀ ▶ で縦縞模様が最小となるように調整します。	−60～+60
クロック位相 (RGB2,RGB3)	パソコンのクロック位相の違いによって、画像や文字の輪郭に、にじみやちらつきが出ることがあります。その場合はクロック位相をマニュアルで調整します。通常は自動で最適値に設定されます。	◀ ▶ でにじみやちらつきが最小となるように調整します。	オート／マニュアル マニュアルのとき 1～32
クランプ位相 (RGB2,RGB3, Comp.video)	通常は自動で最適値に設定されます。 極端に暗い映像、明るい映像となるときに調整します。	◀ ▶ で正常な画面になるように調整します。	−8～+8
オートキャリブレーション (RGB2,RGB3)	映像のダイナミックレンジを最適値にします。 全白の信号を入力しながら行います。	オートキャリブレーションの画面を表示し実行を選択し▲▼を押して項目を選択してください。	実行／取消

映像機能

24フレームモード(テレビ、ビデオモードのみ)

映画などの 24 フレーム／ 1 秒の信号を最適に表示することができます。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

入 ↔ 切

入：映画フィルム信号を最適に表示します。

切：通常の表示をします。

決定 を押して記憶します。

＊信号の種類によっては選択できない場合があります。

※約 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

ジャギーフィルター（テレビ、ビデオモードのみ）

インターレース信号入力時に、動く斜め線がギザギザに見える現象を軽減し、より滑らかな動画を表示することができます。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

入 ↔ 切

入：ジャギーフィルター軽減処理をオンにします。

切：ジャギーフィルター軽減処理をオフにします。

決定 を押して記憶します。

＊ビデオの特殊再生や電波状況が悪い映像などを表示している場合は、画面が乱れるときがあります。その場合は「切」にしてください。

オンスクリーン

表示

メニュー以外の画面表示について表示する、しない、を選択できます。
（エラーメッセージは表示されます）

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→入（明るい）↔入（暗い）↔ 切←

入（明るい）：明るい色で画面表示されます。

入（暗い）　：暗い色で画面表示されます。

切　：メニュー、エラーメッセージ以外は画面表示されません。

決定 を押して記憶します。

言語

オンスクリーンで表示する言語を変更することができます。

① 言語を選んで、決定 を押す
　言語選択画面が表示されます。

② ▲▼を押して言語を選択する
　日本語：日本語
　English：英語
　Deutsch：ドイツ語
　Español：スペイン語
　Français：フランス語
　Italiano：イタリア語
　Português：ポルトガル語

③ 決定 を押す
　選択した言語でメニューが表示されます。

言語選択画面

表示選択

ビデオ入力、RGB 入力の表示設定を変更することができます。

・ビデオ入力

ビデオ 1 ～ 6 入力の表示設定を変更することができます。
接続機器に応じてお好みの表示に選択してください。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。（ビデオ 1 の場合）

→ビデオ1↔DVD1↔DVD2↔VTR1↔VTR2↔ゲーム↔ビデオカメラ↔STB↔サテライト↔CATV←

決定 を押して記憶します。

・RGB 入力

RGB1 ～ 3 入力の表示設定を変更することができます。
接続機器に応じてお好みの表示に選択してください。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。（RGB1 の場合）

→RGB1↔PC1↔PC2↔DVD1↔DVD2↔STB↔サテライト↔CATV←

決定を押して記憶します。

入力端子の設定

入力端子の設定をします。▲▼を押して、ビデオ1～4、DVI-Dのうち設定する端子を選択し決定を押してください。

ビデオ入力端子の設定を選択する

ビデオ入力形式を選択します。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→オート↔ビデオ↔S-ビデオ↔コンポーネントビデオ←

オート　　：入力されている端子を自動的に判別します。
オート以外：お好みの入力を選択してください。

決定を押して記憶します。

※自動判別のを選択しているとき、複数入力されている場合はコンポーネントビデオ、S-ビデオ、ビデオの順に入力が優先されます。

※ビデオ 3 のコンポーネントビデオ入力はありません。

カラー方式

ビデオ入力端子に入力する映像のカラー方式を選択できます。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→オート1↔オート2↔NTSC↔PAL↔SECAM↔PAL60↔N-PAL↔M-PAL↔4.43NTSC←

オート 1　：入力信号が NTSC,PAL,SECAM のとき、自動的に入力に合った設定になります。
オート 2　：入力信号が NTSC,M-PAL のとき、自動的に入力に合った設定になります。
オート以外：入力信号に合わせて設定してください。

決定を押して記憶します。

DVI-D入力端子の設定を選択する

DVI-D 入力端子に入力する信号方式を選択することができます。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

DVI1 ↔ DVI2

DVI1：パソコンを接続するときに使用します。
DVI2：DVD やデジタルチューナなどを接続するときに使用します。

決定 を押して記憶します。

＊周辺機器を接続する前に、信号方式に合わせて設定してください。

設定・調整

※約 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

その他の設定（つづき）

チャンネル設定

チャンネルの設定をします。

▲▼を押して項目を選択します。下記のよう切り換わります。

→オート←→チャンネルポジション←→チャンネル調整←→チャンネル表示←→キー選択←

決定を押してください。

チャンネル設定の画面表示

オート

全てチャンネルをスキャンし、受信可能なチャンネルのみをリモコンボタンの1～12に割り当てます。

オートの画面表示

チャンネルポジション

▲▼を押してリモコンの設定したいチャンネル（No.1～No.12）を選択し、決定を押します。

各チャンネルの設定

▲▼を押してチャンネルの設定かスキップかを選択します。

- **チャンネル**

  ◀▶を押すごとで1～62、C13～C38まで切り換わります。
  決定を押して記憶します。

- **スキップ**

  ◀▶を押すごとに切り換わります。
  切 ↔ 入
  切：チャンネル　アップ／ダウン時にスキップしません。
  入：チャンネル　アップ／ダウン時にスキップします。
  （キー選択でダイレクトを設定時に有効）
  決定を押して記憶します。

※放送をしていないチャンネルをスキップしたいときには「入」を選択してください。

チャンネルポジションの画面表示

No.1 設定画面

チャンネル調整

▲▼を押してリアルチャンネルの設定したい項目を選択します。

チャンネル

◀▶を押すごとに切り換わります。
設定したいリアルチャンネルを選びます。
地上波：1～62、CATV：C13～C38

ステレオ

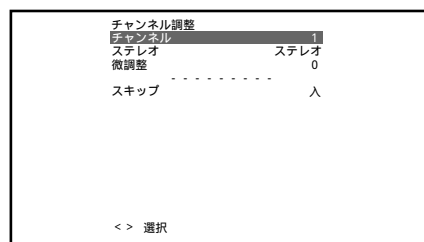
◀▶を押すごとに切り換わります。
ステレオ ↔ モノラル
決定を押して記憶します。

微調整

◀▶を押すごとに－40～＋40まで切り換わります。
※受信状態が悪いときに調整します。最も映像がきれいに映るように調整します。

スキップ

◀▶を押すごとに切り換わります。
切 ↔ 入
切：チャンネル　アップ／ダウン時にスキップしません。
入：チャンネル　アップ／ダウン時にスキップします。
（キー選択で10キーを設定時に有効）

※放送をしていないチャンネルをスキップしたいときには「入」を選択してください。

チャンネル表示

◀ ▶ **を押すごとに切り換わります。**

ポジション ↔ リアルチャンネル

ポジション　　　：リモコンボタン1～12から押された数字を表示します。

リアルチャンネル：1～62、C13～C38のチャンネル番号を表示します。

決定 を押して記憶します。

キー選択

◀ ▶ **を押すごとに切り換わります。**

ダイレクト ↔ 10キー

ダイレクト：リモコンのチャンネルボタン（1～12）で割り当てられたチャンネルを選局します。

10キー　：リモコンのチャンネルボタン（0～9）チャンネル番号を2桁入力で選局します。

※チャンネル番号の1桁目を入力した後、3秒以内に2桁目の入力がなかった場合には1桁目のチャンネル番号を選局します。（1桁目が0の場合には無効になります）

決定 を押して記憶します。

その他の設定

・省電力設定

テレビの消し忘れを防ぐ機能です。

省電力設定
自動オフ（操作連動）　切
自動オフ（信号連動）　切
DPMS　切
<> 選択

省電力設定の画面表示（RGBモード）

省電力設定の画面表示（ビデオモード）

自動オフ（操作連動）

◀ ▶ **を押すごとに切り換わります。**

切 ↔ 入

切：自動的に電源をオフしません。

入：3時間、何の操作も行わないと自動的に電源が待機状態になります。

決定 を押して記憶します。

DPMS（RGBモードのみ）

節電機能が働くまでの待機時間を設定します。

DPMSとはDisplay Power Management Signalingの略称で、自動的に本機の消費電力を減少させる機能です。

電源が「入」のとき、設定した時間内に信号が入力されないと、節電機能が働いて自動的に画面が消え入力待機状態となり、電源ランプの表示が橙色に変わります。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→ 切 ↔ 1分 ↔ 15分 ↔ 45分 ↔ 60分 ←

切　：DPMS機能は動作しません。

数値：設定した時間、映像信号が入力されないと待機状態となります。

再度映像信号が入力されると自動的に電源が入ります。

数値はおおよその待機時間です。

決定 を押して記憶します。

※節電中は電源ランプが橙色で表示されます。

※信号が入力されると、待機状態は解除され、自動的に電源が「入」になります。

背景の色の指定ができます。

▲ ▼ を押して背景を選択する。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

黒 ↔ 白

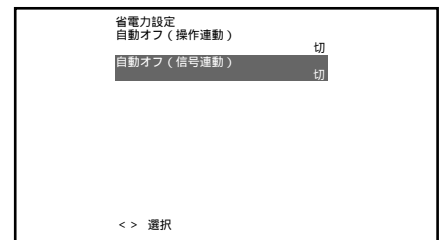
黒：黒色の背景色で映像をミュートします。

白：白色の背景色で映像をミュートします。

※信号がなくなってから、約20秒後に切り換わります。

決定 を押して記憶します。

※約60秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

設定・調整

自動オフ（信号連動）

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

切 ↔ 入

切：自動的に電源をオフしません。

入：約 10 分間映像信号がない状態が続くと、自動的に待機状態となります。

決定を押して記憶します。

スクリーンセイバー（RGBモードのみ）

画面の位置を移動させて、画面の焼き付きを軽減させます。

① スクリーンセイバーを選択して、決定を押す。
スクリーンセイバー画面が表示されます。

② ▲/▼を押してモード／タイムを選択する。

③ 移動パターンを選択する。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→ 切 ↔ 時間 ↔モード ←

切：スクリーンセイバーは機能しません。

時間：1 時間ごとに移動します。

モード：電源「入」または入力モードを切り換えたときに移動します。

④ ▲/▼を押して移動範囲を選択する。

⑤ ◀ ▶ を押して移動範囲を選択する。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

→ 小 ↔ 中 ↔ 大 ←

小：狭い範囲の移動（5 ピクセル程度）

中：中程度の範囲の移動（10 ピクセル程度）

大：広い範囲の移動（15 ピクセル程度）

⑥ 決定を押して記憶します。

＊RGB1 モードでスクリーンセイバーを機能させると画面の上下左右で文字などが欠ける場合があります。

スクリーンセイバー選択画面

表示モード設定（RGBモードのみ）

RGB の入力信号に対する設定を切り換えることができます。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

RGB1 入力モードの時

→オート↔VGA↔WVGA↔XGA↔WXGA←

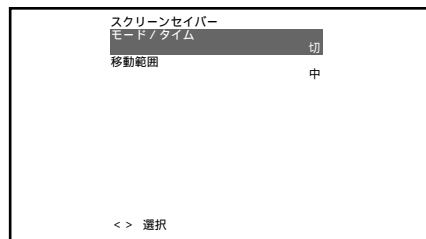
RGB2、3 入力モードの時

→オート↔VGA↔WVGA↔480P↔XGA↔WXGA←

オート ：入力信号を自動的に最適に表示します。

その他 ：それぞれの信号に最適な解像度設定に固定します。

決定を押して記憶します。

※オートモードではVGA,WVGA,480P,XGA,WXGAの解像度は自動的に判別できない場合があります。画像が正しく表示されないときには固定表示に切り換えてください。

コードセッティング（RGB2、RGB3モードのみ）

通常はオートでご使用ください。

ホワイトスクリーン

全画面を白で表示し、焼き付けを軽減させます。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

切 ↔ 入

切：全白表示は機能しません。

入：全白表示されます。

決定 を押して記憶します。

Exhibition Mode

展示デモ用にコントラストを高めた表示を行います。

不特定の人が使用する環境に最適です。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

切 ↔ 入

切：通常モードに設定します。

入：Exhibition Mode に設定します。

決定 を押して記憶します。

※ユーザー調整値を変更しても、およそ 5 分後に元の状態に戻ります。
コンセントを抜くと設定が解除されます。

イルミネーション

チューナー前面部の青いイルミネーションの設定ができます。

◀ ▶ を押すごとに切り換わります。

切 ↔ 入

切：イルミネーションを点灯しません。

入：イルミネーションを点灯します。

決定 を押して記憶します。

状態表示

システム動作状態を確認することができます。

状態表示を選択して、決定 を押す。

状態表示画面が表示されます。

モード	：入力モードが表示されます。
Freq.Scan Mode	：周波数自動追跡
Input Signal	：ビデオ方式
Input Sync	：信号の種類
Freq.	：同期信号の周波数、極性
Preset No.	：RGB コード番号

状態表示画面（ビデオモード）

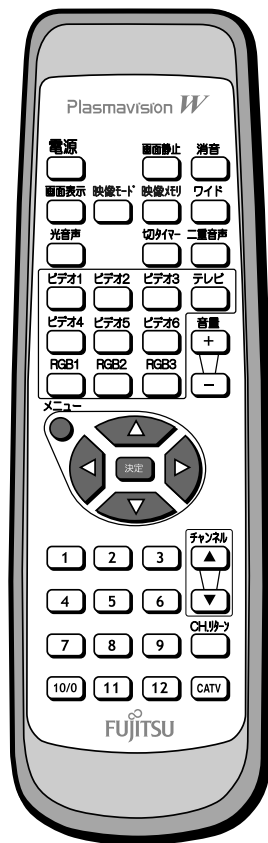
状態表示画面（RGB モード）

※約 60 秒間、操作しないときには、画面表示は消えます。

基本手順［例：調整・設定した値をお買い上げ時の設定に戻す］

●メニューなどで調整・設定した値を工場出荷時の設定に戻します。

メニュー表示

1 メニュー ボタンを押す

メインメニュー画面が表示されます。

2 ◀ ▶を押して、FACTORY DEFAULTを選択する

押すごとに、表示が切り換わります。

映像調整←→表示位置／サイズ←→音声設定／音声調整←→設定←→FACTORY DEFAULT

FACTORY DEFAULT画面が表示されます。

FACTORY DEFAULT
初期状態に戻す
メニュー 終了
決定 次へ

FACTORY DEFAULTを選択した画面

項目選択

3 決定を押す

初期化を行って良いのか、のメッセージが表示されます。

FACTORY DEFAULT
実行
取消
実行すると初期化されます。
（既存データは消去されます）
決定 戻る

メッセージ表示した画面

項目調整

4 ▲ ▼を押して、実行を選択する

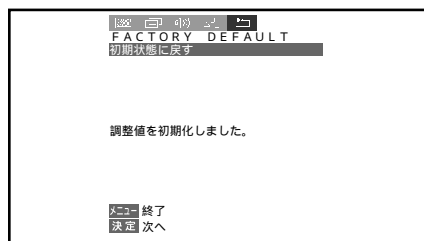
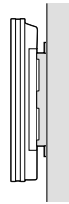
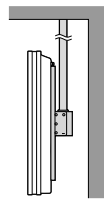
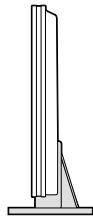
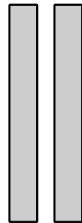
5 決定を押す

初期化を行い

完了のメッセージが表示されます。

FACTORY DEFAULT
初期状態に戻す
調整値を初期化しました。
メニュー 終了
決定 次へ

メッセージ表示した画面

終了

メニュー ボタンを押して、終了する

オプション品

壁掛けユニット	取付け角度0°～15°	P-WB4201形
天吊りユニット	取付け角度0°～15°	P-CT4200形
卓上スタンド		P-TT4200形
スピーカー		P-SP4200形（2個1組）
スピーカースタンド		P-ST4200形（2個1組）

※本機にオプション品を取り付けた場合は、オプション品の取扱説明書または取付説明書の設置仕様に従ってください。
※本機とオプション品の間には、若干の色の差があります。
※オプション品は、機能・性能の向上のため、仕様・形名が変更になる場合があります。販売店にご相談のうえ、お買い求めください。

⚠警告

据え付けるときや設置するときは、お買上げ窓口に依頼してください。
ご自分で据付け工事や移設工事をすると、落下・倒れによるケガや火災・感電の原因となります。

主な対応信号

RGBの調整値は最新の４種類の信号を記憶します。５種類目の信号を入力すると、一番初めに入力した信号の調整値がクリアされます。保存したい信号を入力し、「表示位置／サイズを調整する」（38 ～ 39 ページ参照）の説明にしたがってお好みの画面に調整してください。調整が終了するとその調整値が自動的に保存されます。調整後、同じ信号が入力されると最後に保存された調整値で表示されます。

主な対応信号（RGBモード）

表示(ドットライン)	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	対応信号	DVI-D
640×480	31.47	59.94	VGA	○
640×480	37.50	75.00	VGA 75Hz	
640×480	43.27	85.01	VGA 85Hz	
720×400	31.47	70.09	400ライン	○
800×600	37.88	60.32	SVGA 60Hz	○
800×600	46.88	75.00	SVGA 75Hz	
800×600	53.67	85.06	SVGA 85Hz	
1024×768	48.36	60.00	XGA 60Hz	○
1024×768	60.02	75.03	XGA 75Hz	
1024×768	68.68	84.99	XGA 85Hz	
1280×1024	63.98	60.02	SXGA 60Hz	
1280×1024	79.98	75.03	SXGA 75Hz	
848×480	31.02	60.00		○
852×480	31.72	59.97		
1360×768	47.71	60.01		
720×485	15.73	59.94	60 フィールド	
720×575	15.63	50.00	50 フィールド	

・水平、垂直周波数が範囲内でも、入力信号によっては画面に「Out of range」が表示されることがあります。この場合には、上記より別の周波数に合わせてください。
・DVI-Dでは一部入力信号が制限される場合があります。
・本機はVideo、S-video、Comp. videoモードでは入力信号により下記の信号が設定されています。

主な対応信号（Comp. videoモード）

水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	対応信号
15.73	59.94	SDTV 480 I
15.63	50.00	SDTV 576 I
31.47	59.94	SDTV 480P
31.25	50.00	SDTV 576P
45.00	60.00	HDTV 720P
37.50	50.00	HDTV 720P
33.75	60.00	HDTV 1080 I
28.13	50.00	HDTV 1080 I

主な対応信号（Video、S-videoモード）

水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	対応信号
15.73	59.94	NTSC
15.63	50.00	PAL
15.63	50.00	SECAM
15.63	59.52	PAL60
15.63	50.00	N-PAL
15.73	59.95	M-PAL
15.73	59.94	4.43NTSC

・本機は入力信号によって縮小補間による圧縮表示をする場合があります。
・本機の保証範囲外の信号を入力すると「Out of range」の表示をします。
・入力信号は 設定メニュー画面の状態表示で確認できます。（49 ページ参照）
・写真や図は説明を分かりやすくするために、多少実物とは異なる場合がありますので、ご了承ください。

・この装置は、「JIS　C　61000-3-2　適合品」※ です。

※「JIS　C　61000-3-2　適合品」とは、日本工業規格「電磁両立性－第 3-2 部：限度値－高調波電流発生限度値（１相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

仕様

■チューナー（42V 型ワイドプラズマディスプレイ用）

項目	内容
形名	P-TU4H30J
選局方式	周波数シンセサイザー方式
受信チャンネル	VHF：1～12、UHF：13～62、CATV：C13～C38
質量	4.5kg
外形寸法	幅43.0×高さ9.5×奥行37cm
使用電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	18W（待機時5W）
接続端子	アンテナ入力　TV：F型接栓　75Ω ビデオ入力1,2,4（D映像、S映像優先） 映 像：ピンジャック1.0Vp-p/75Ω S映像：S端子（Y信号:1.0Vp-p/75Ω、C信号:0.286Vp-p/75Ω） D映像：D4端子 音 声：ピンジャック0.5Vrms（右・左） ビデオ入力3（S映像優先） 映 像：ピンジャック1.0Vp-p/75Ω S映像：S端子（Y信号:1.0Vp-p/75Ω、C信号:0.286Vp-p/75Ω） 音 声：ピンジャック0.5Vrms（右・左） ビデオ入力5,6 コンポーネント映像　Y：ピンジャック1.0Vp-p/75Ω P_B／C_B：ピンジャック0.7Vp-p/75Ω P_R／C_R：ピンジャック0.7Vp-p/75Ω 音 声：ピンジャック0.5Vrms（右・左） RGB入力1 映 像：DVI端子（EIA/CEA-861B準拠） 音 声：ミニピンジャック　0.5Vrms（右・左） RGB入力2 映 像：mD-sub3列15ピン　0.7Vp-p/75Ω 音 声：ミニピンジャック　0.5Vrms（右・左） RGB入力3 映 像：mD-sub3列15ピン　0.7Vp-p/75Ω デジタル音声光入力1,2 アンプ用出力 アナログ音声：ピンジャック0.5Vrms（右・左） デジタル音声
ディスプレイ接続専用端子	ディスプレイ（映像）出力端子 ディスプレイ（音声）出力端子
使用環境	温度　0～40℃、湿度　20～80%
付属品	リモコン・・・・・・・・・・・・・・1個 保証書・・・・・・・・・・・・・・・1通 ＡＣ変換アダプタ・・・・・・・・・1個 単3乾電池・・・・・・・・・・・・2本 電源コード・・・・・・・・・・・・1本

■ 42V 型ワイドプラズマディスプレイ

項目	内容
形名	P42HHS30J
画面サイズ	42V型ワイド（幅92.2cm×高さ52.2cm、対角106.0cm）
アスペクト比	16：9
質量	30kg
外形寸法	幅103.7×高さ64.2×奥行8.5cm （突起部を含まず）
使用電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	370W（待機時1.5W）
表示画素数	1024×1024
チューナー接続専用端子	映像入力　ディスプレイ（映像）入力端子 音声入力　ディスプレイ（音声）入力端子
外部端子	外部スピーカー　実用最大出力　10W+10W　6Ω
動作使用条件	温度　0～40℃、湿度　20～80%
付属品	取扱説明書・・・・・・・・・・・1冊 システムケーブル（映像）・・・・1本 電源コード・・・・・・・・・・・1本 フェライトコア・・・・・・・・・2個 保証書・・・・・・・・・・・・・1通 システムケーブル（音声）・・・・1本 ＡＣ変換アダプタ・・・・・・・・1個

・仕様および外観は、改善のため変更することがありますのでご了承ください。
・長時間、連続して画面を見ていると目が疲れます。ディスプレイから離れた場所からご覧になり、ときどき目を休めてください。（画面からの距離は、1.5m 以上が目安です）
・本機を使用できるのは、日本国内のみです。

お手入れ

必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。キャビネットや画面前部のフィルター、およびリモコンが変質したり塗料がはげたりすることがあります。

キャビネット／リモコンのお手入れ

柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、よく絞ってからふき取り、乾いた柔らかい布でふき、仕上げてください。

画面のお手入れ

柔らかい布で軽くふき取ってください。
表面は傷つきやすいので硬いものでこすったり、強く押したり、たたいたりしないでください。

通気孔のお手入れ

本機背面にある通気孔は定期的に掃除機でホコリを吸い取ってください。ホコリをためたまま使用すると、本機内部の温度が上昇し、火災や故障の原因となります。

修理をご依頼される前に

故障かなと思ったら次の項目を点検してください。

こんなとき……	確認してください
電源が入らない	電源プラグが正しくコンセントに差し込まれていますか。
映像が出ない	各機器とのケーブルがはずれていませんか。入力機器の電源は入っていますか。 または入力端子や入力モードを間違えていませんか。 入力モード表示がピンク色になっていませんか。特殊設定を行ってる場合があります。元に戻すか、ユーザー調整値の初期化を行ってください。
リモコンが動作しない	電池の入れ方を間違えていませんか。 電池が消耗していませんか。 遠方から操作していませんか リモコンの送信部を本機の受信部に向けないで操作していませんか。 本機とリモコンの間に障害物がありませんか。
ピシッという音がする	室温の変化によってキャビネットが伸縮するために発生する音です。 異常ではありません。
ファーファーという音がする	本機は動作中に内部の温度が上昇するのを防ぐために放熱用のファンが取り付けられています。 ファンの回転による風きり音です。
画面に斑点が出る	お手持ちのAV機器が自動車や電車、高圧線、ネオンなどからの妨害電波を受けていませんか。
色や色合いが悪い	映像調整が正しく設定されていますか。（35～37ページ:映像調整参照）
表示位置・サイズがずれている	表示位置・サイズが正しく設定されていますか。（38～39ページ:表示位置／サイズ参照）
音声が出ない	スピーカーからのケーブルがはずれていませんか。
「Out of range」と表示された場合または画面が白黒になる	本機対応以外の信号が入力されています。 対応信号を確認してください。 （52ページ：主な対応信号参照）
「Error message Condition1」と表示された場合	ファンの異常です。電源プラグをコンセントから抜いたうえで、販売店に点検を依頼してください。
「Error message Condition 2」と表示された場合	装置内温度異常です。電源プラグをコンセントから抜いてください。（温度が下がれば電源の再投入が可能になります）電源再投入後も点灯する場合は、電源プラグをコンセントから抜いたうえで、販売店に点検を依頼してください。
「Change refresh rate to 60Hz」と表示された場合	垂直周波数が48.3～51.8、58.4～61.4（Hz）以外では、映像がぼやける場合があります。 この表示が出ましたらパソコンなどの設定を変更してください。
電源ランプが赤色および緑色で異常点滅をしている場合	点滅の状態を販売店にご連絡ください。電源プラグをコンセントから抜いてください。 電源ランプの点滅のしかたで異常状態を示します。

アフターサービス

必ずお読みください。

保証について

保証書
（本機に添付してあります）

保証書は必ず販売店からお受け取りください。販売店名、お買上げ年月日などの記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みいただいて、大切に保管してください。

保証期間中の修理

正常な状態でご使用いただきながら故障した場合は、1年間無料修理を行います。保証書が無い場合は、保証期間中でも代金を請求される場合がありますので、よく読んで大切に保管してください。

保証期間
経過後の修理

保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください、当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の
保有期間

当社はこのディスプレイの補修用性能部品を、製造打切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご贈答品などで購入店に
修理を依頼できない場合

お近くの当社製品取扱店か、本説明書の裏表紙の全国サービスネットワークに記載されている最寄りの当社サービス窓口へご相談ください。

修理を依頼されるとき

次のことを
お知らせください

●**形名**…保証書に記載してあります。
●**故障状態**…できるだけ詳しくお伝えください。
●**お買上げ年月日**…保証書に記載してあります。
●**お客様のお名前、ご住所、お電話番号**
●**訪問希望日**…ご都合の悪い日もお伝えください。

全国サービスネットワーク

修理・お取扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買上げの販売店へお申し付けください。転居や贈答品などでお困りの場合は、最寄りの当社サービスコールセンターへご相談ください。

テレフォンサービス　☎ 044(857)3000、072（332)3841

URL　http://www.fg-cs.co.jp

東 日 本 地 区

●サービスコールセンター東日本

北海道・青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島地区

☎　022(239)5233(代)
Fax　0120-070-220（フリーダイヤル）

サービスセンター

北海道	☎011(241)4622(代)	〒060-0007	札幌市中央区北七条西13丁目9番地の1笹本ビル
青　森	☎017(722)9012(代)	〒030-0813	青森市松原1-5-5サンシャインプラザ松原B-101
盛　岡	☎019(638)5130(代)	〒020-0891	岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3-9-5
秋　田	☎018(867)1281(代)	〒010-0972	秋田市八橋田五郎1丁目12番51号
仙　台	☎022(239)5106(代)	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町3丁目5番5号
山　形	☎023(645)6330(代)	〒990-0832	山形市城西町4丁目20番31号
郡　山	☎024(922)5570(代)	〒963-8851	郡山市朝日2-1-5丸久ビル105号

近 畿・中 部 地 区

●サービスコールセンター大阪

愛知・岐阜・三重・石川・福井・富山・大阪・京都・和歌山・奈良・兵庫・滋賀地区

☎　072(332) 3311（代）
Fax　0120-070-220（フリーダイヤル）

サービスセンター

松　原	☎072(332)3603(代)	〒580-0004	松原市西野々2丁目1番45号
名古屋	☎052(775)1847(代)	〒465-0028	名古屋市名東区猪高台1丁目1315番地
金　沢	☎076(291)2354(代)	〒921-8014	金沢市糸田1丁目71番地
三　重	☎059(232)7407(代)	〒514-0102	津市栗真町屋町1709番地
京　都	☎075(931)0486(代)	〒601-8213	京都市南区久世中久世5丁目2番1号日本鉱産ビルグラハイツ1階

首 都 圏 地 区

●サービスコールセンター東京

東京・新潟・群馬・栃木・茨城・埼玉・千葉・神奈川・静岡・山梨・長野地区

☎　044（861）7700（代）
Fax　0120-070-220（フリーダイヤル）

サービスセンター

東京第一	☎03(3864)9331(代)	〒111-0051	東京都台東区蔵前4丁目18番6号蔵前柴田ビル
東京第二	☎0422(53)6709(代)	〒180-0014	武蔵野市関前3丁目15番10号秋山ビル1階
多　摩	☎0426(36)5697(代)	〒192-0914	八王子市片倉町311番1号リーベ片倉1階
新　潟	☎025(271)2251(代)	〒950-0863	新潟市卸新町1丁目842番地28
高　崎	☎027(328)0711(代)	〒370-0831	高崎市新町6番19号
宇都宮	☎028(662)8221(代)	〒321-0912	宇都宮市石井町2578番地
大　宮	☎048(668)4812(代)	〒331-0811	さいたま市北区吉野町2丁目202番地1号
千　葉	☎043(266)6151(代)	〒260-0843	千葉市中央区末広5丁目11番9号
柏	☎0471(67)7163(代)	〒277-0023	柏市中央1丁目9番2号久保ビル
横　浜	☎045(944)3900(代)	〒224-0007	横浜市都筑区荏田南5丁目18番53号
川　崎	☎044(861)7825(代)	〒213-8502	川崎市高津区末長1116番地
静　岡	☎054(237)8859(代)	〒422-8034	静岡市高松2丁目17番33号
浜　松	☎053(464)0068(代)	〒435-0048	浜松市上西町35番5号
松　本	☎0263(27)3246(代)	〒390-0841	松本市渚3丁目10番11号折井ビル1階

中 国・四 国 地 区

●サービスコールセンター大阪

広島・岡山・鳥取・島根・山口・香川・徳島・愛媛・高知地区

☎　072(332) 3311（代）
Fax　0120-070-220（フリーダイヤル）

サービスセンター

広　島	☎082(503)5118(代)	〒733-0034	広島市西区南観音町17番9号
岡　山	☎086(244)4217(代)	〒700-0975	岡山市大元2-4-3ヤマシタ大元ビル1階
松　江	☎0852(21)9014(代)	〒690-0015	松江市上乃木9-2-17シェルプラン102
高　松	☎087(885)1111(代)	〒761-8084	高松市一宮町258番の1
松　山	☎089(934)0857(代)	〒790-0952	松山市朝生田町7丁目1番32号

九 州 地 区

●サービスコールセンター福岡

福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄地区

☎　092(542) 0500（代）
Fax　0120-070-220（フリーダイヤル）

サービスセンター

福　岡	☎092(552)1435(代)	〒815-0031	福岡市南区清水2丁目9番29号
北九州	☎093(921)4572(代)	〒802-0064	北九州市小倉北区片野4丁目3-18木村ビル1階
大　分	☎097(558)1524(代)	〒870-0907	大分市大津町1丁目14番2号
熊　本	☎096(360)3981(代)	〒862-0913	熊本市尾の上4丁目11-47号ミヒロビル
鹿児島	☎099(254)6505(代)	〒890-0073	鹿児島市宇宿3丁目17番13号

※住所・電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。

（平成15年4月1日現在）

株式会社 富士通ゼネラル
〒213-8502　川崎市高津区末長1116番地